



青い森のみちづくり

2023版

青 森 県

はじめに

青森県を取り巻く社会経済環境は、人口減少と少子化、労働力不足、2025年に訪れる超高齢化時代、グローバル化の更なる進展など、大きく変化しています。また、道路行政に求められるニーズは年々多様化し、これに呼応するきめ細やかな施策の展開が求められています。

このような状況の下、県が平成30年12月に策定した青森県基本計画「選ばれる青森」への挑戦において掲げた、2030年までにめざす姿である「生活創造社会」の実現に向け、道路課では、「経済を回す」ための基盤づくりを担う幹線道路ネットワーク整備促進、安心して快適に暮らせる生活環境づくりを担う歩道整備及び流・融雪溝をはじめとする雪対策、災害に強い地域づくりを担う斜面の防災対策及び橋梁の耐震性確保等を推進します。さらには安全・安心な県土づくりを進めるため、既存ストックの計画的な維持管理と更新を進めます。

人口減少社会にあっても、県民の誰もが、この青森の地で安心して暮らしていくことができる持続可能な地域づくりを着実に進めていくためには、「生業」と「生活」が循環する「経済を回す」仕組みづくりが重要です。このめざす姿の実現に向かって青い森のみちづくりを進めていきます。

● 2030年のめざす姿の具体像

「生業（なりわい）」と「生活」が好循環する地域へ ～世界が認める「青森ブランド」の確立～

このめざす姿が想定する2030年の青森県の具体像について、分野別に例示すると次のようになります。

産業・雇用分野



本県と国内外とをつなぐ交通・物流ネットワークの拡大を生かし、青森県産品の販路拡大や「あおり発」の製品開発、観光産業が「経済を回す」けん引役として外貨の獲得をめざすとともに、新たな「しごと」が数多く創出されていること。

安全・安心、健康分野



県民の命と暮らしを守ることを最優先にした様々な災害や危機への対策がなされ安全・安心で快適に暮らすことができるとともに、若者が結婚の希望をかなえ、安心して子どもを産み育てられる環境づくりと健康・長生きで活動的に暮らしていくために支え合い、共に生きる仕組みづくりの推進をめざすこと。

環境分野

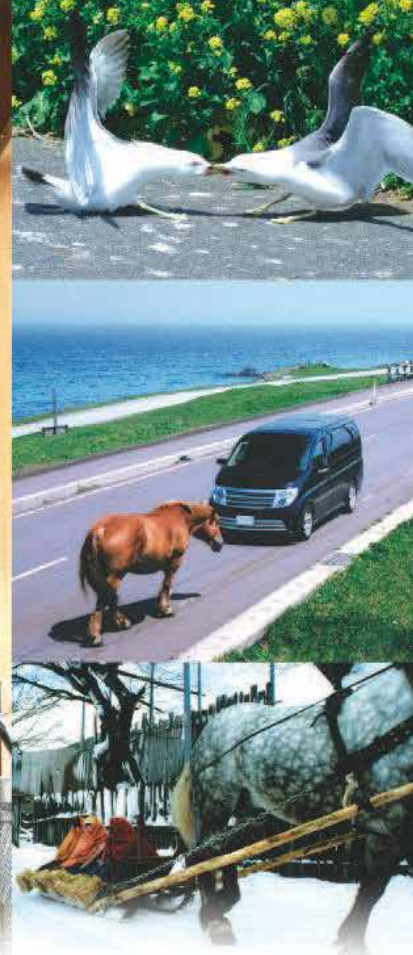
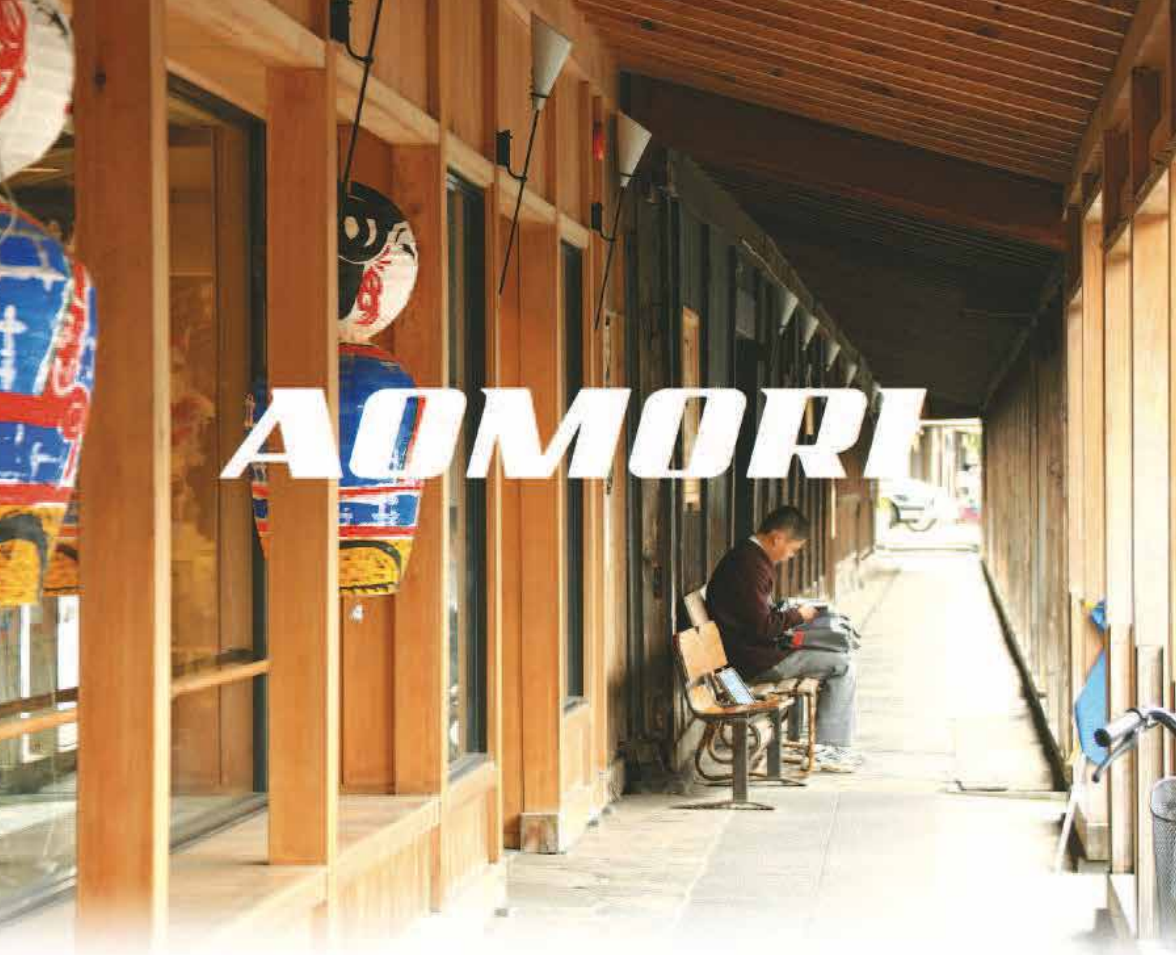


県民が青森県の豊かな自然と共生しながら保全し活用していく大切さを認識し、3Rやごみ削減などの取り組みの拡大や、省エネ行動の促進と地域の特性を生かした再生可能エネルギーの適正な利活用をめざすこと。

教育、人づくり分野



世界を視野に活躍できる地域の人材を育成し、若者や女性など多様な人材がリーダーとして活躍できる社会をめざすとともに、生涯を通じて、学びの機会と継続的にスポーツに親しむ環境を整えること。



CONTENTS

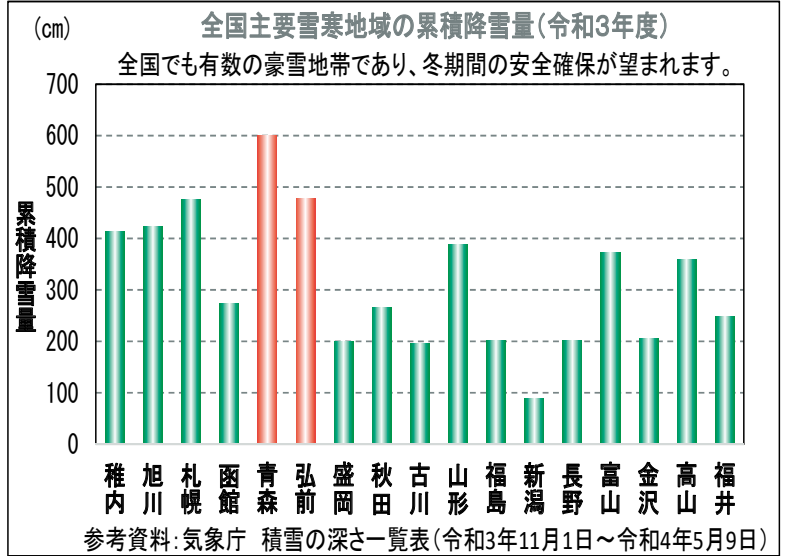
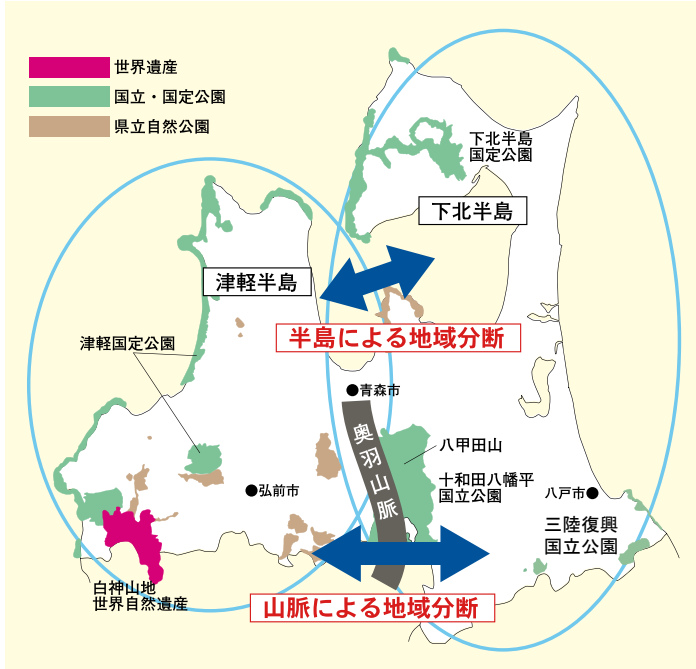
●青森県のすがた	1
●道路の現況と課題	3
●青森県の道づくり基本方針	
青森のみちの将来像	5
成果重視型の道路行政	6
●政策テーマ1 交流・連携	
交流促進と連携強化を支援する青森の道づくり	7
●政策テーマ2 雪	
雪国あおもりの暮らしを支える道づくり	13
●政策テーマ3 安全・安心	
安全で安心な暮らしを支えるあおもりの道づくり	15
●政策テーマ4 都市機能の高度化	
都市機能の高度化を支援するあおもりの道づくり	18
●政策テーマ5 自然環境の保全	
あおもりの自然と調和し活用する道づくり	19
◆道路に関する予算	21
◆公共事業評価	22
◆高規格幹線道路	23
◆青森県幹線道路網図	25
◆青森県の道路に関するプログラム	27
◆青森のこれまでのみちづくり	29
◆道路に関する情報発信	31

青森県のすがた

■青森の地勢

青森県は、世界遺産白神山地、十和田八幡平国立公園などに代表される豊かな自然環境を有しています。

しかし、その自然環境を形成する県土の地形は、津軽半島と下北半島の間にある陸奥湾や、中央を南北に連なる奥羽山脈が、青森・津軽地域と南部・下北地域を分断しています。



●面積	●人口
9,645.95km ²	1,200,464人
R4.10.1現在 国土地理院	R5.1.1現在 青森県推計人口 青い森オープンデータカタログ



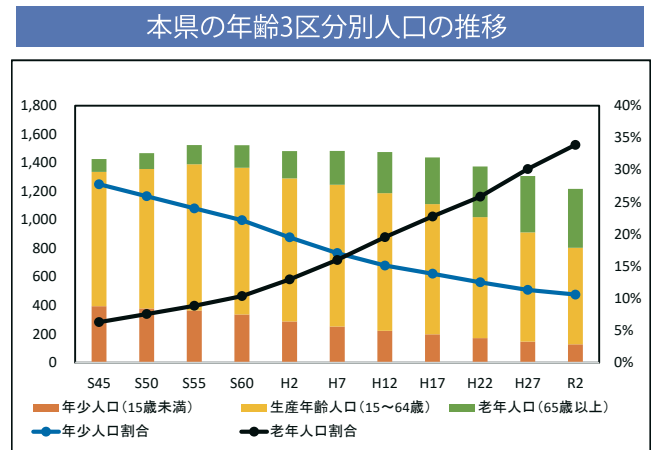
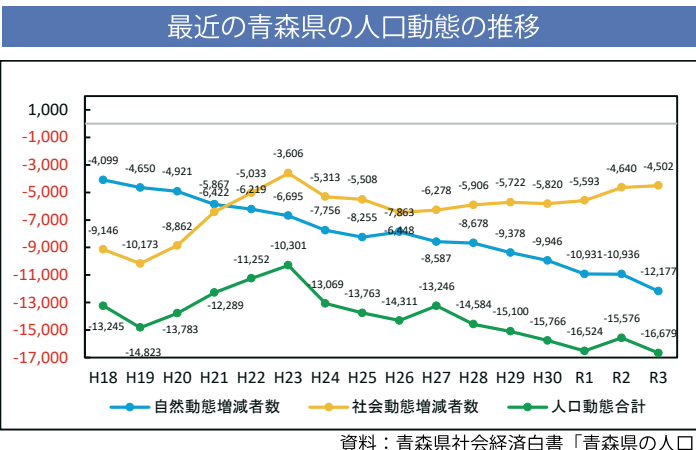
冬の道路状況(弘前市賀田)



冬の道路状況(青森市筒井)

■人口減少と少子高齢化の進展

平成11年以降は、これまでプラスだった自然動態が、少子高齢化の進行によりマイナスに転じ、年々そのマイナス幅が拡大しています。このため、出生数の減少に歯止めをかけ、また若年者を中心とする県外への人口流出を食い止めるなど、総合的な少子化対策が必要となっています。



注: 1 自然動態=出生数-死亡数
2 社会動態=県外からの転入-県外への転出

■恵まれた観光資源

青森県には、三内丸山遺跡をはじめ、小牧野遺跡、是川遺跡、亀ヶ岡遺跡など、「北海道・北東北の縄文遺跡群」が存在し、令和3年7月27日に世界文化遺産に登録されました。また日本を代表する火祭り「青森ねぶた祭」、津軽の夏を彩る「弘前ねぷたまつり」、豪華絢爛な山車と囃子が魅力の「八戸三社大祭」、巨大な山車で圧倒的迫力を醸し出す「五所川原立佞武多」のほか、春を呼ぶ豊作祈願のお祭り「八戸えんぶり」、艶やかな桜が咲き誇る「弘前さくらまつり」など、優れた文化観光資源を有しています。

観光入込客数

(単位:千人)

		H30	R1	R2	R3
総数		16,376	14,393	11,202	13,197
うち	日帰客	11,405 (70%)	10,095 (70%)	8,367 (75%)	10,099 (76%)
	宿泊客	4,971 (30%)	4,298 (30%)	2,834 (25%)	3,098 (24%)
うち	県内客	9,329 (57%)	7,977 (55%)	7,260 (65%)	9,548 (72%)
	県外客	6,789 (41%)	6,099 (42%)	3,899 (35%)	3,641 (27%)
うち	冬期観光客	5,560 (34%)	4,372 (30%)	4,427 (40%)	4,898 (37%)

出典：県観光企画課「令和3年青森県観光入込数統計」

主要行催事・イベント入込客数

(単位:千人)

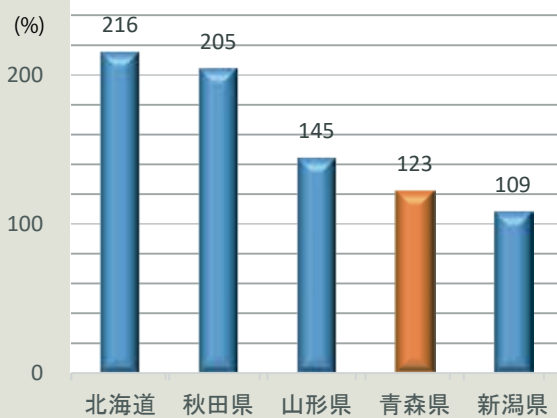
行催事・イベント名	開催市町村名	入込客数			
		H28	H29	H30	R1
青森ねぶた祭	青森市	2,760	2,820	2,800	2,850
弘前さくらまつり	弘前市	2,360	2,510	2,540	2,890
弘前ねぶたまつり	弘前市	1,700	1,650	1,600	1,680
五所川原立佞武多	五所川原市	1,110	1,180	1,240	1,290
八戸三社大祭	八戸市	1,178	1,492	1,403	1,452
八戸えんぶり	八戸市	233	241	293	306

出典：県観光企画課「令和2年青森県観光入込数統計」

■農林水産業の高いポテンシャル

青森県の食料自給率は123%（全国4位）と高く、食料供給県として、様々な品目で全国上位の生産量を誇ります。本県で生産されたものは、販売事業者や物流関連事業との連携強化により、鮮度を保った輸送が行われるなど、生産

全国有数の食料自給率



令和2年度(カロリーベース)

資料：農林水産省

全国有数の農業県

農業産出額 全国7位
果実産出額 全国1位

出典：令和3年 農林水産省統計

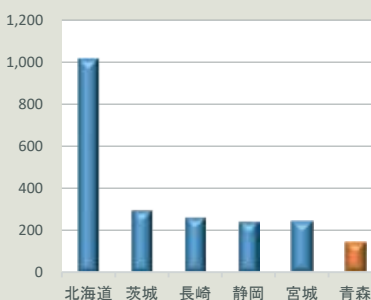
収穫量が全国上位の農産物

品目	全国収穫量 (t)	県収穫量 (t)	全国順位
りんご	763,300	463,000	1
にんにく	21,200	14,300	1
ごぼう	126,900	48,000	1
あんず	2,068	1,258	1
フサスグリ	11	7.6	1
ながいも	149,500	57,300	2
なたね	3,580	398	2
くるみ	121	38	2
マルメロ	145	11	2

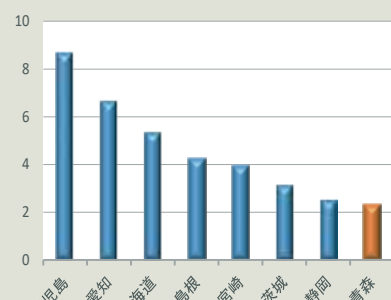
出典：ピカイチデータ 数字で読む青森県2021

全国有数の水産業県

海面漁業・養殖業生産量



内水面漁業・養殖業生産量



令和3年 漁業・養殖業生産統計(単位:千t)

漁獲量が全国上位の水産物

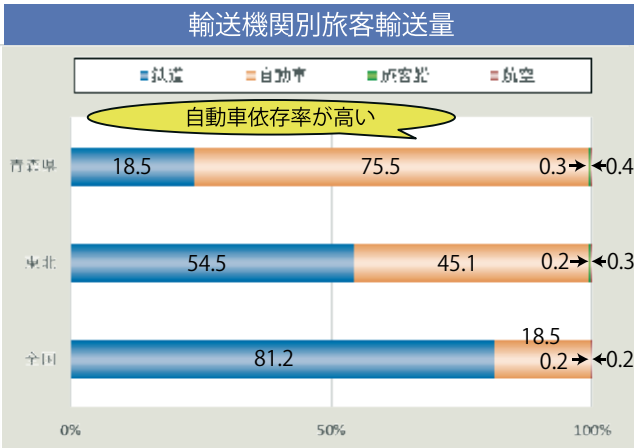
品目	全国漁獲量 (t)	県漁獲量 (t)	全国順位
わかさぎ	981	414	1
しらうお	565	287	1
こい	175	88	1
うぐい・おいかわ	163	94	1
いか類	72,974	17,350	1
ほたてがい	144,466	98,448	1
くろまぐろ	10,236	1,426	2
こんぶ類	46,543	1,118	2
しじみ	9,520	2,816	2

出典：ピカイチデータ 数字で読む青森県2021

道路の現況と課題

青森県は、全国と比較し公共交通網が十分行き届いていないこともあり、移動手段の殆どを自動車に頼っている状況です。しかし、主要都市間の移動にはまだ多くの時間を要しており、地域間交流・産業経済活動に一部支障をきたしています。また、本県は全国有数の豪雪地帯であることから、特に冬期間の道路空間確保が課題となっています。さらに、県内には歩道の未整備区間や斜面对策が必要な箇所が多く存在します。

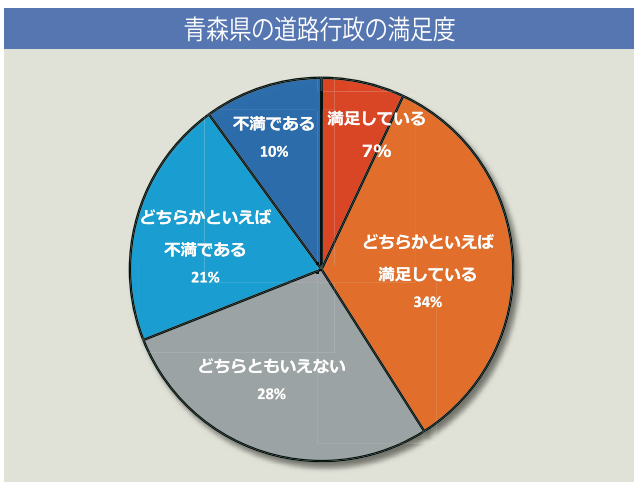
安全・安心な道路環境確保のため、これらの課題に対し、県民の皆さんのご理解とご協力を頂きながら、より効率的・効果的な対策の実施に努めていきます。



資料：R2年旅客地域流動調査 府県相互人員表から算出



資料：H27 全国道路・街路交通情勢調査 非混雑時旅行速度調査結果から算出



資料：H29青森県ウェブアンケート

県民が道路行政に期待していること

1	除雪・排雪の充実	4	都市間の道路整備
		5	道路安全施設の充実※2
2	日常的な維持管理※1	6	渋滞の解消
		7	急カーブ、急勾配の解消
3	歩行者空間の確保	8	分かりやすい道路情報
		9	道路案内標識等の充実

※1 舗装の穴埋めや既設側溝の蓋交換など

※2 ガードレールや照明灯など

資料：H29青森県ウェブアンケート

青森県の道路現況

R2.3.31現 在(確定値) 単位:km

	路線数	実延長(km)	改良状況		舗装状況		橋 梁		トンネル	
			改良済み(km)	改良率(%)	舗装済み(km)	舗装率(%)	箇所	延長(km)	箇所	延長(km)
国道(直轄管理)	5	327.8	327.8	100.0	327.8	100.0	283	13.6	6	2.0
国道(県管理)	12	1,118.3	962.4	86.1	931.0	83.3	758	18.6	20	5.8
国道計	15	1,446.0	1,290.2	89.2	1,258.8	87.1	1,041	32.2	26	7.8
主 要	47	1,232.9	959.4	77.8	818.1	66.4	655	18.3	8	2.7
一 般	185	1,269.7	758.3	59.7	720.2	56.7	852	21.2	8	5.4
県道計	232	2,502.5	1,717.8	68.6	1,538.3	61.5	1,507	39.5	16	8.1
県管理計	244	3,620.8	2,680.2	74.0	2,469.3	68.2	2,265	58.1	36	13.9
国県道計	247	3,948.6	3,008.0	76.2	2,797.1	70.8	2,548	71.6	42	15.9
市町村道	33,917	16,117.0	9,666.5	60.0	3,979.6	24.7	4,476	65.0	13	1.3
合 計	34,164	20,065.5	12,674.5	63.2	6,776.7	33.8	7,024	136.7	55	17.2

注1：有料道路を含み、自転車道を除く。注2：指定区間国道は、4号、7号、45号の他に、101号、104号の一部を含む。

出典：道路統計年報2021

注3：改良延長は県道が車道幅員5.5m以上、また市町村道は5.5m未満を含む。舗装延長は簡易舗装を除く。注4：端数整理の為、合計が合わない場合があります。

●地域間交流・連携への支援が必要



車両立ち往生 (国道279号 野辺地町～むつ市)



車両立ち往生 (国道279号 野辺地町～むつ市)

●雪に強いまちづくりが必要



すれ違い困難 (主要地方道青森東インター線 青森市)



地吹雪による視界不良 (国道338号 むつ市)

●安全・安心な暮らしの確保が必要



歩道の未整備区間 (国道454号 新郷村)



落石危険箇所 (国道338号 佐井村)

●都市環境の向上が必要



都市部の渋滞 (国道103号 青森市)








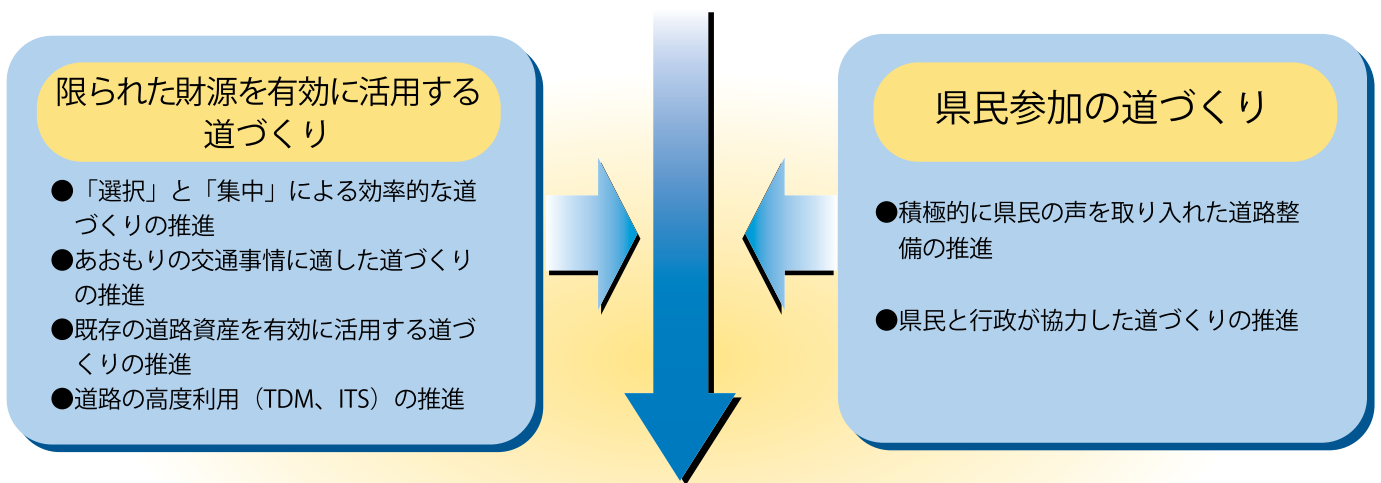
電線類の錯綜 (主要地方道弘前岳鱒ヶ沢線 弘前市)

青森県の道づくり基本方針

道路事業の実施にあたっては、青森県基本計画「選ばれる青森」への挑戦で掲げた「生業」と「生活」が循環する「経済を回す」仕組みづくりの実現を図るため、「青森のみちの将来像」の5つの基本方針に基づいて、「県民の幸せを支える道づくり」を目指して 効率的・効果的な事業の推進に努めています。

■青森のみちの将来像

基本方針（政策）	政策テーマ	政策目標
交流促進と 連携強化を 支援する あおもりの 道づくり		<ul style="list-style-type: none"> ●生活・経済圏間の連携強化を支援します。 ●観光拠点間のアクセス性強化を支援します。 ●農水産品の都市への円滑な輸送を支援します。 ●国土保全を担う中山間地域と都市との連携を支援します。 ●交通拠点へのアクセス性強化を支援します。 ●救急医療体制を支援します。
雪国あおもりの 暮らしを支える 道づくり		<ul style="list-style-type: none"> ●冬にあおもりに対応した道路構造を確保します。 ●冬期バリアフリーを推進します。 ●冬にあおもりに対応した除雪の充実を図ります。 ●地吹雪に対する防雪施設の充実を図ります。
安全で安心な 暮らしを守る あおもりの道づくり		<ul style="list-style-type: none"> ●事故危険箇所等における交通安全対策を推進します。 ●災害時における代替性のある道路網を確保します。 ●道路防災対策の推進による安全安心を確立します。
都市機能の 高度化を支援する あおもりの道づくり		<ul style="list-style-type: none"> ●渋滞の解消による、良好な生活環境の創出を図ります。 ●ゆとりある歩行空間・彩りある街づくりを進めます。
あおもりの 自然と調和し活用 する道づくり		<ul style="list-style-type: none"> ●自然環境の保全等に配慮する道づくりを進めます。



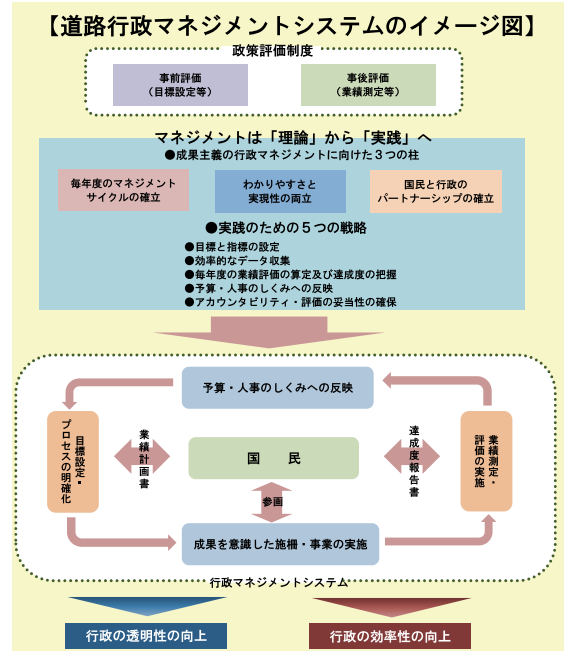
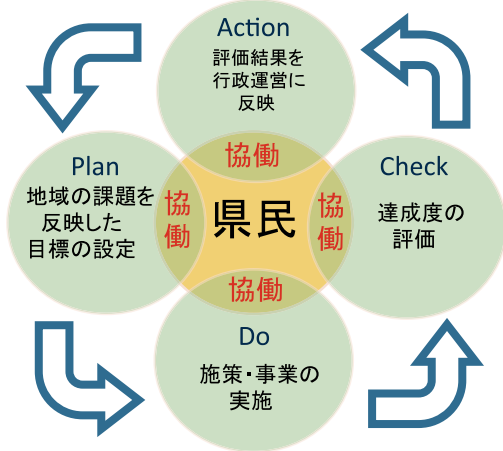
県民の幸せを支える道づくり

※基本方針と政策目標については、学識経験者や県民の意見を踏まえ、平成15年3月に「青森のみちの将来像」として取りまとめました。

■成果重視型の道路行政

これまでは、「バイパスを〇〇Km整備します」といった量的な目標（指標）に基づいて事業を行ってきましたが、平成15年度からは「バイパスや歩道の整備により交通事故を△△件減少させる」といった、事業によって得られる“成果”を重視する道路行政マネジメントに取り組んでいます。

成果目標を持ち（Plan）、成果を求めて取り組み（Do）、結果を評価し（Check）、評価結果を行政運営に反映させる（Action）成果重視型の道路行政を進め、より透明性・客観性の高い事業の転換に努めていきたいと考えています



道路整備による成果の一例

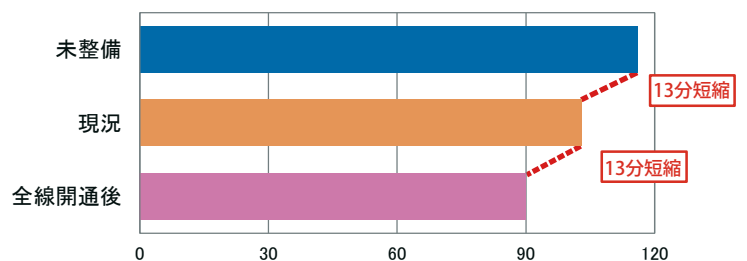
むつ市から七戸町を繋ぐ、下北半島縦貫道路の整備事業によって得られる成果を紹介します。

下北半島縦貫道路の整備により、二次救急医療施設であるむつ総合病院から青森県立中央病院への救急搬送には、未整備の状態では約2時間要しますが、全線供用後は約30分の時間短縮がされるなど、地域の医療サービスが向上します。

【成果の一例】 救急医療体制の強化



【むつ市～青森市の所要時間の変化】



大動脈解離、くも膜下出血、異常分娩による母体搬送などは青森市へ救急搬送されている。
(H27～R1の5年間で243件)

※むつ総合病院～県立中央病院の所要時間を表示
現況:「横浜吹越IC～野辺地IC」を利用
全線開通後:「下北半島縦貫道路」を利用
出典:H27全国道路・街路交通情勢調査(非混雑時、下り)を採用
未供用区間については、道路構造に応じた速度を採用

■青森県の幹線道路網について

高規格幹線道路をはじめとした広域的な高速道路体系の整備とともに、地方生活圏中心都市間の連携や交通拠点へのアクセス強化などを支援する国道・県道の整備を推進します。

令和4年度の開通・整備箇所

	令和4年度開通・整備箇所		
	路線名	箇所名	延長
一般道路	① 一般国道280号 砂ヶ森工区	今別町	0.9km
	② 八戸都市計画道路 3・5・1沼館三日町線 (部分供用)	八戸市	0.2km
地域高規格幹線道路	③ 一般国道45号 上北自動車道 天間林道路(※)	七戸町	8.3km
	㉔ 一般国道279号 下北半島縦貫道路 むつ南バイパス(部分供用)	むつ市	2.1km



一般国道280号 砂ヶ森工区 (令和5年3月供用)



八戸都市計画道路3・5・1号沼館三日町線
(令和4年12月部分供用)

現在進められている主な事業

	路線名	箇所名	延長
㉑	一般国道101号 津軽自動車道 柏浮田道路(※)	つがる市	12.3km
㉒	一般国道103号 奥入瀬(青楓山)バイパス(※)	十和田市	5.2km
㉓	一般国道279号 下北半島縦貫道路 むつ南バイパス	むつ市	5.3km
㉔	一般国道279号 下北半島縦貫道路 奥内バイパス	むつ市	11.0km
㉕	一般国道279号 下北半島縦貫道路 横浜北バイパス	むつ市 ～横浜町	10.4km
㉖	一般国道279号 下北半島縦貫道路 横浜南バイパス	横浜町	7.0km
㉗	一般国道4号 下北半島縦貫道路 野辺地七戸道路(※)	野辺地町 ～七戸町	7.1km
㉘	一般県道 後平青森線 後平バイパス	七戸町	1.6km



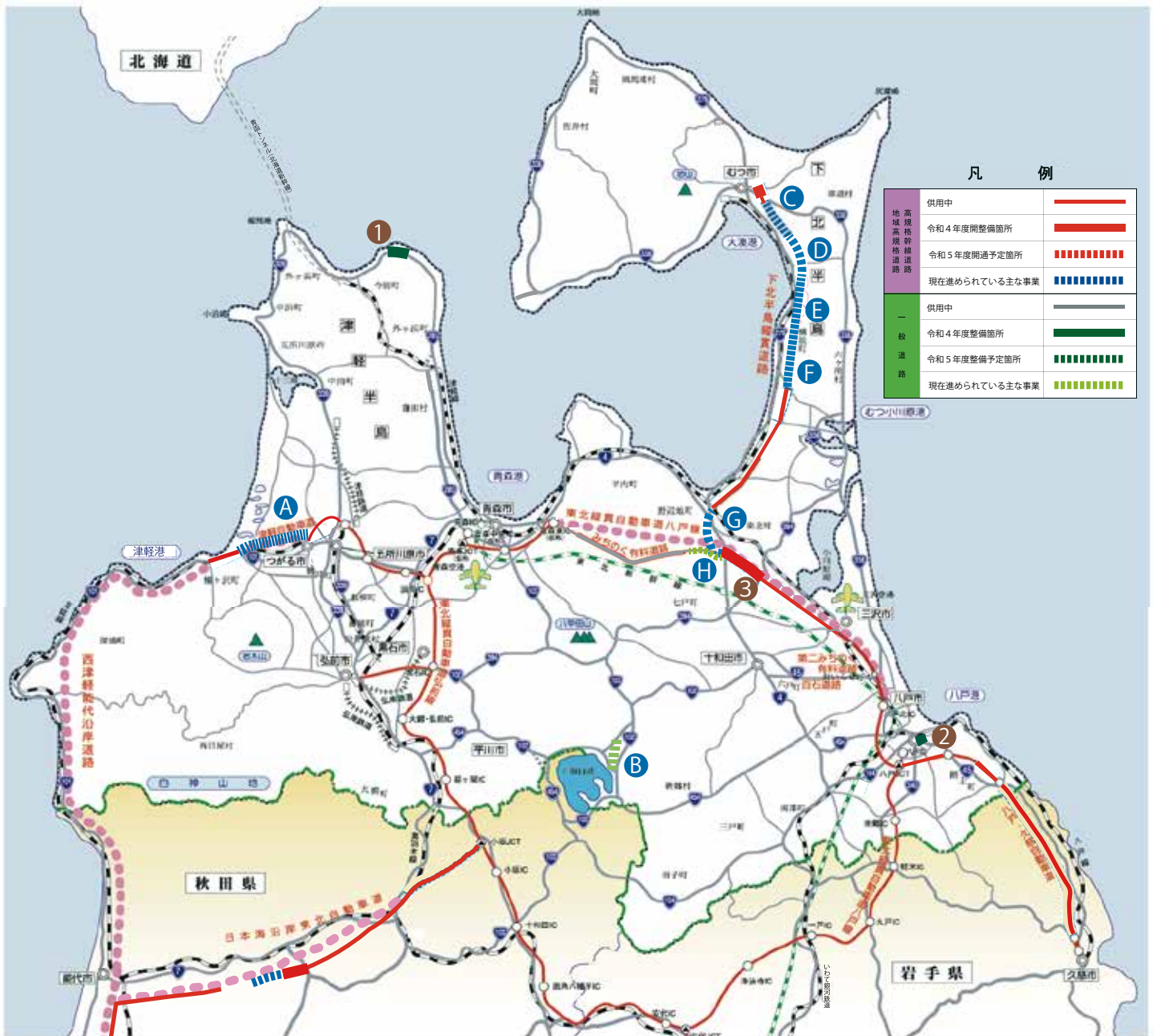
下北半島縦貫道路 むつ南バイパス
(令和5年3月部分供用)

(※) は国土交通省青森河川国道事務所の事業です。



一般国道45号 上北自動車道 天間林道路
(令和4年11月27日供用)

事業位置図



■上北自動車道 令和4年11月27日全線供用

一般国道4号及び45号は県都青森市と第二の都市八戸市を直結する唯一の幹線道路でありながら、急カーブ、急勾配、交通混雑、交通事故多発等の問題が発生しています。

上北自動車道は、第二みちのく有料道路や百石道路へのアクセス強化を促し、一般国道4号及び45号の交通混雑緩和や交通事故の減少、沿道環境の改善を図り、県都青森市と八戸市をはじめ、地域間の連携強化を担う総延長約24kmの自動車専用道路です。



■下北半島縦貫道路

下北地域の中心都市であるむつ市を起点とし、上北郡七戸町で東北縦貫自動車道八戸線と連絡する延長約70kmの地域高規格道路で、広域交流の促進や地域間の連携強化を図るものです。



下北半島縦貫道路の必要性

- ①半島性の解消、地域間交流の促進
青森市～むつ市間を概ね1時間で連絡
- ②物流ネットワークの強化
定時性の確保、安全性の向上
- ③救急医療体制の支援
三次救急医療施設への連絡強化
- ④国家プロジェクトの支援
エネルギー供給基地へのアクセス強化

令和5年度の整備方針

- むつ南バイパス (L=8.7km)
むつ市街地で慢性的に発生している交通渋滞緩和を図るため、改良工事、横断函渠工事を推進します。
- 横浜北バイパス (L=10.4km)
豪雪等災害時における代替路の確保、横浜ICに直結する道の駅「よこはま」との連携を図るため、改良工事を推進するとともに、横浜IC以北の用地取得を推進します。
- 横浜南バイパス (L=7.0km)
第1次緊急輸送道路の機能強化、救急医療施設へのアクセス向上を図るため、改良工事、舗装工事を推進します。
- 奥内バイパス (L=11.0km)
下北半島縦貫道路のミッシングリンク解消、国道279号のダブルネットワーク化を図るため、測量、調査、設計を推進します。

供用区間の整備効果

高速性・定時性の確保

開通区間の並行現道には、信号の連続により渋滞する野辺地市街地やJR大湊線と平面交差する踏切があるため、通過するのに非常に時間がかかりました。



渋滞する野辺地市街地



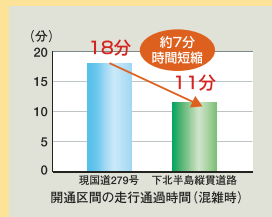
JR大湊線と平面交差する踏切

開通

現道の障害を回避することができ、また交差道路はすべて立体構造のため、高速性・定時性を有した安定走行が可能となりました。



開通により安定走行が可能



安全性の確保

県内有数の豪雪地帯である野辺地町の市街地において、路肩への堆雪により、道路幅が狭くなり、走行性の悪化が発生していました。またアップダウンが激しい箇所が存在し、視認性が悪く、冬期のスリップ事故の原因となっていました。



路肩堆雪による幅員狭小状況



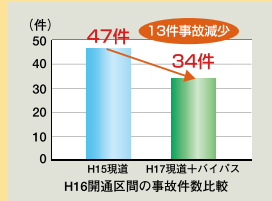
アップダウンの激しい現道

開通

路肩を広くとっているため、冬期における十分な車線幅の確保が可能となりました。また中央分離構造や非常に緩やかな線形・縦断勾配での整備により、走行の安全性が図られました。



開通により安定走行が可能



I.C (インターチェンジ) と直結する道の駅を核とした防災拠点づくり

下北半島縦貫道路(仮)横浜インターチェンジと直結する道の駅よこはま周辺エリアを、「産業振興」、「地域福祉」、「防災」の機能を有する地方創生拠点として整備し、交流人口の拡大や少子高齢化に対応した安全・安心な地域づくり、地域防災力の向上や広域的な復旧復興に資する強靱な社会基盤の実現を目指しています。

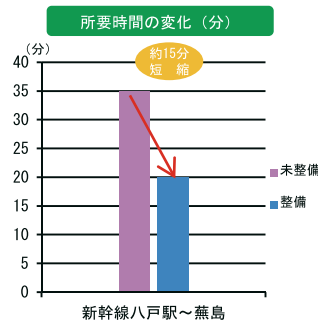
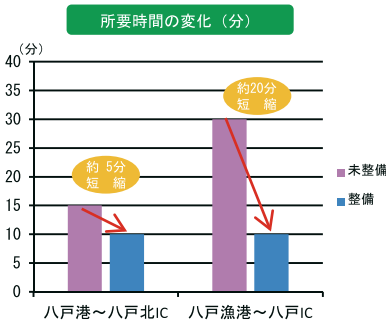


下北半島縦貫道路 (仮)横浜インターチェンジに直結 道の駅よこはまエリア全景

■主要地方道 八戸環状線

主要地方道八戸環状線は、東北縦貫自動車道八戸北IC・八戸IC経由し、重要港湾八戸港に至る幹線道路で、各種交通結節点を連結し物流を支えるとともに津波災害時の避難路となる重要路線です。

現在は天久岱工区、市川Ⅱ期工区（道路事業）及び尻内工区（街路事業）の整備を進めており、各種交通結節点及び総合病院へのアクセス向上を図ります。平成30年度には、天久岱工区の起点側1.0kmが部分供用されました。



整備の効果

- ①高速道路IC、新幹線駅、港湾などの交通拠点を連絡
- ②中心市街地に集中する自動車交通の分散
- ③産業の活性化や市民生活の利便性向上

■中居林工区開通状況 (平成27年3月31日供用開始)



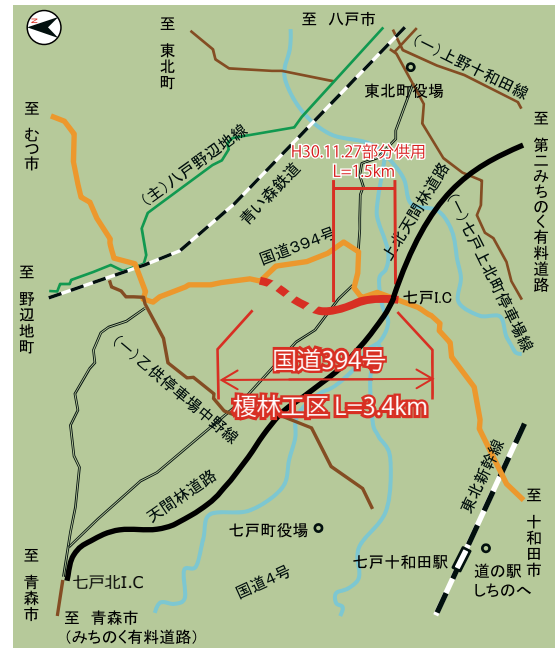
■天久岱工区事業実施状況



■一般国道394号（榎林工区）

一般国道394号は、むつ市を起点とし、上北自動車道I.Cや東北新幹線七戸十和田駅を經由し、弘前市へ至る延長約83kmの幹線道路であり、物流や観光産業を支える重要な幹線道路です。

当該路線の七戸町榎林工区は幅員が狭い上、急カーブが多く安全な通行に支障をきたしていることから、安全安心な通行の確保、沿道環境の改善のため、榎林工区約3.4kmの整備を進めています。また当工区は、平成30年度に供用した上北天間林道路七戸ICへのアクセス路にもなっているため、七戸ICから町道までの約1.5kmの区間を平成30年11月27日に部分供用しました。



■一般国道101号 津軽自動車道

柏浮田道路

■事業の概要

- ・津軽自動車道の一部を構成する一般国道の自動車専用道路

■事業の効果

- ・高盛土等で吹きだまり雪堤が形成されにくくなり、冬期走行環境が改善
- ・ブランドメロンのさらなる出荷量の増加等、地域産業の活性化
- ・主要な交通拠点からのアクセス性が向上し、周遊エリアの拡大など周遊観光を支援

■令和5年度の事業内容

調査設計、用地調査、用地買収、改良工事



※一般国道101号津軽自動車道は、国土交通省において整備中です。



(仮)浮田IC周辺の状況



(仮)木造IC周辺の状況



(仮)つがる柏IC周辺の状況

----- 事業中

効果的な雪対策

青森県は全国でも有数の豪雪地帯であり、冬期交通、歩行者空間の確保は切実な課題です。

県では、500台以上の除雪機械を配置し、日夜除排雪作業に取り組んでいます。また、融・流雪溝や無散水消雪（ロードヒーティング）施設等を整備し、車道や歩道空間の確保に努めています。

今後も、除排雪作業と施設整備を効果的に組み合わせ、効率的な雪対策に取り組めます。同時に、県民の皆様と協働した冬期対策を進めていきたいと考えています。

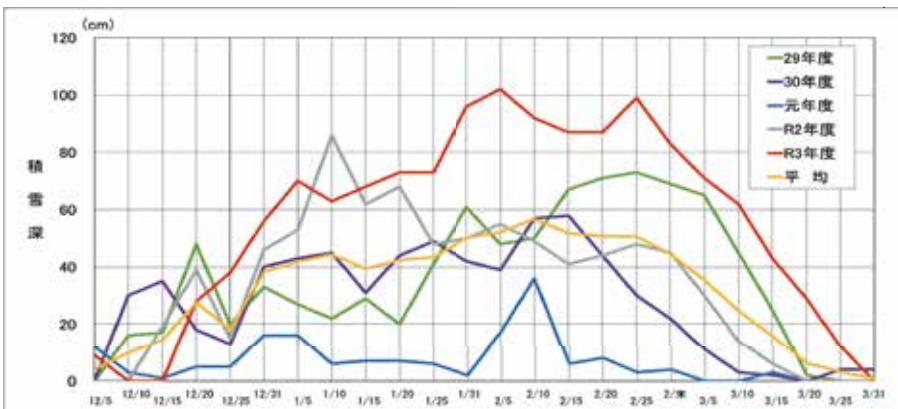
●青森県の積雪寒冷地域及び豪雪地帯の状況



■	積雪地域(青森県 全域)
	寒冷地域(青森県 全域)
■	豪雪地帯(青森県 全域)
	特別豪雪地帯
	青森市 全域
	弘前市 のうち旧相馬村
	黒石市 全域
	五所川原市 のうち旧五所川原市
	十和田市 のうち旧十和田湖町
	平川市 のうち旧平賀町、旧碓ヶ関村
	平内町 全域
	今別町 全域
	蓬田村 全域
	鱒ヶ沢町 全域
	西目屋村 全域
	野辺地町 全域
	東北町 のうち旧東北町
6市、5町、2村、計13市町村	

近年の積雪状況

5日おきの積雪深図（青森、弘前、五所川原、むつ、野辺地の平均）



すれ違い困難



一般県道駒込筒井線（青森市）

<通常期>



<冬期>



(一) 荒川青森停車場線 青森市大野地区の通常期と冬期の様子

冬の渋滞状況



主要地方道森代十和田線（青森市）

■冬期交通・歩行者空間確保の取り組み



スクラム除雪事業 ～地域住民と行政の協働～

県民からの歩道除雪ニーズは非常に高い
↓
 青森県のすべての歩道を行政が除雪することは実質的に困難
↓
 町内会やPTA等の地域住民へ小型除雪機を無償貸与し、
 通学路等の歩道の除雪作業を実施してもらう


地域住民による歩道除雪延長と貸与台数の推移

年度	貸与台数	延長(km)
H9	0	0
H12	31	54.2
H15	58	116.6
H18	111	180.8
H21	112	178.6
H24	114	190.1
H27	114	202.6
H30	116	206.4

地中熱を利用した歩道融雪

小さな温度差で素早く熱を伝える中空金属パイプにより、地中熱を取り出し路面に伝えています。
 地中と路面の温度差で放熱するため、暖かい時はあまり放熱せず、路面温度が低い時に多くの放熱をする自動制御的な放熱を行うものです。

(主) 青森環状野内線 青森市



交通安全事業

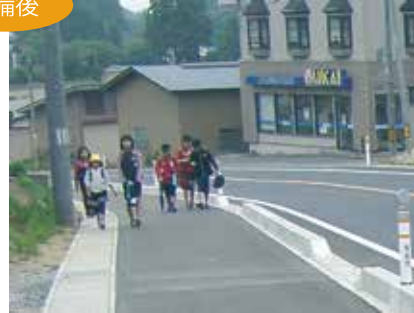
通学路等における自転車歩行者道・歩道・交差点改良の整備などを順次行い、快適な歩行者空間の確保と事故の防止を図っています。

自転車歩行者道整備事例

整備前



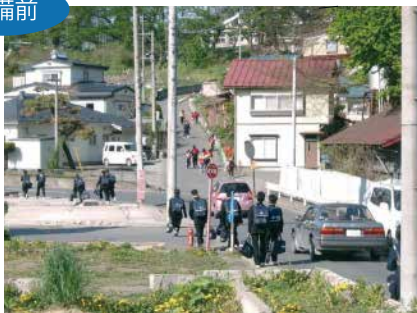
整備後



一般国道394号【自歩道】
上北郡東北町乙供地内
平成19年度～平成27年度

歩道整備事例

整備前



整備後



差波新井田線【歩道】
八戸市新井田地内
平成20年度～平成28年度

交差点改良整備事例

一般国道454号(八戸市尻内地内)

■事業の概要

八戸自動車道と国道454号との交差点である八戸西スマートI.Cの供用(平成31年3月23日供用)にあわせ、付加車線の設置等の交差点改良を実施。

■事業期間

平成30年度

整備前



整備後



■ 橋梁補修・橋梁架替事業

● 橋梁の耐震補強

地震時の橋梁被災を防止し、救急・救援活動や緊急物資の輸送など復旧活動に重要な役割を果たすルートを確保するため、集中的に落橋防止装置の設置や、橋脚補強などの耐震補強を実施しています。

● 橋梁の補修・維持修繕

橋梁アセットマネジメント（※）に基づき、老朽化している床版や桁の補修、再塗装や高欄補修などを計画的かつ効率的に行い、加えて日常的な維持管理業務として伸縮装置の清掃等を実施し、橋梁の長寿命化を図っています。

● 橋梁の架け替え

橋梁の中でも劣化損傷が著しく、現状で危険な状態にある橋梁や、構造的な弱点を抱えた橋梁について、緊急性に応じて順次架け替えを行っています。

● 市町村の支援

市町村の管理する橋梁の適正な維持管理体制の確立を支援しています。



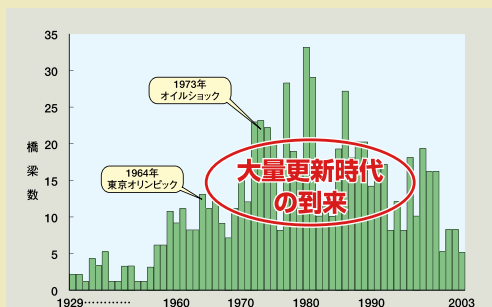
▲ 橋梁補修（補修・耐震補強）
主要地方道 青森環状野内線 荒川橋

（※） 橋梁アセットマネジメントとは、

橋はこれまで、悪くなってから架け替えるということを繰り返してきました。しかし今までのやり方では、近い将来到来する橋の大量更新時代に対応することができません。

橋梁アセットマネジメントでは、対策が必要な橋に優先順位をつけ、計画的な維持管理を行うことにより、維持コストの最小化・平準化し、橋の長寿命化を実現させることができます。

橋を取り巻く現状と課題



- 橋の多くは、高度成長期以降に建設が集中しています。
- 橋の寿命は約50年程度といわれる事もあり、近い将来、大量更新時代が到来することになります。
- しかし、厳しい財政運営で、橋ばかりにお金をかけるのは不可能です。
- そこで、計画的、戦略的な維持管理が必要です。

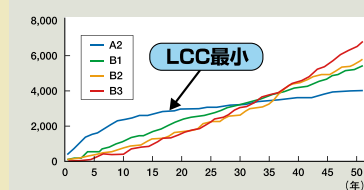
橋梁アセットマネジメント導入

① 橋梁点検の精度向上

- ITの活用による精度の高い点検を実施
- 点検結果をもとに将来の劣化を予測

② 最適補修時期を選定

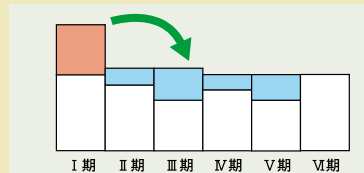
- 橋梁毎に最小維持管理コスト（LCC）を算出
- 維持管理コストが最小となる最適な補修時期を決定



▲ LCC算出例

③ 計画的な維持管理の実施

- 予算との整合
- 優先順位、対策橋梁を決定



▲ 予算の平準化を行います。



長寿命化修繕計画を策定。効率的な橋梁補修に取り組んでいます。
取組み状況を道路課HPで公表しております。

<http://www.pref.aomori.lg.jp/soshiki/kendo/doro/kyouryou-asset.html>

災害防除事業

斜面からの落石や土砂の崩落などが発生した場合、通行止めにより、生活や産業に大きな影響を与えます。これを未然に防止するため、危険箇所に対して災害防止の対策を進めています。


過去の落石発生事例

落石による通行止めが発生した場合、代替路がない地域では迂回時間が大きくなり、生活・産業などに支障をきたします。

(一) 九艘泊脇野沢線 むつ市

国道279号 風間浦村

(主) 夏泊公園線 平内町



全面通行止め：H17.4.9～5.12
・被災箇所→平内町役場
20分→60分（迂回）



全面通行止め：H18.8.22～9.14
・被災箇所→むつ市脇野沢庁舎
10分→30分（迂回）

全面通行止め：H17.4.19～4.20
・大間町→むつ市
50分→210分（迂回）

現場吹付法枠+緑化

(主) 岩木山環状線 鱈ヶ沢町

落石防護柵

国道454号 新郷村

落石防護網

国道102号 十和田市

道路防災点検

災害の発生が想定される個所は、それぞれに番号を付けて管理しており、毎年点検を行っています。点検結果は防災カルテにとりまとめ、『要対策』と判定された個所から優先的に対策工事を行っており、『対策不要』と判定されるまでは点検を継続して経過を観察しています。



施工前(要対策)



フリーフレーム
工法



施工後(対策完了)

国道339号 外ヶ浜町

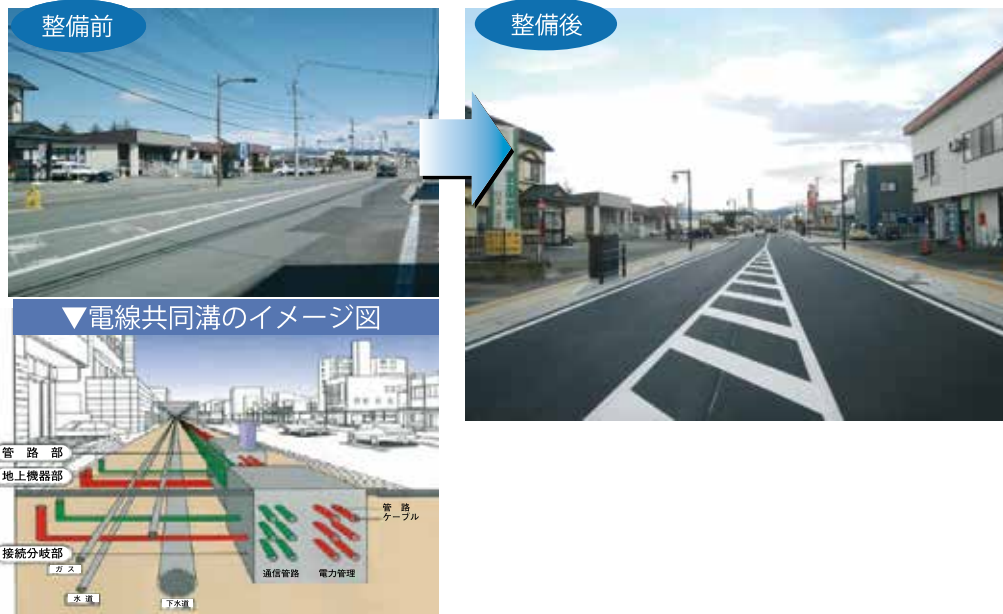
市街地における渋滞解消のための道路整備や、社会実験などに取り組み、都市機能向上、快適な都市環境づくりに努めています。また、近年の災害激甚化・頻発化に対する防災機能の向上に加え、快適な歩行者空間確保と都市景観の向上、情報化社会への対応のため、電線共同溝の整備等の無電柱化事業を行っています。

■無電柱化事業

(一) 町居平賀停車場線 平川市柏木町

無電柱化の効果

- ・ 防災・減災機能の向上
- ・ 歩道空間の確保、バリアフリー化
- ・ 都市景観の向上
- ・ 情報通信網の強化
- ・ 電力の安定供給



■渋滞対策事業（都市機能の向上）

(主) 八戸環状線 天久岱工区、市川II期工区、尻内工区

八戸港～八戸市立市民病院～IC～八戸市街地を結ぶ道路ネットワークを
【現状】慢性的な渋滞による都市機能の低下

(主)八戸環状線 天久岱工区、市川II期工区、尻内工区の整備

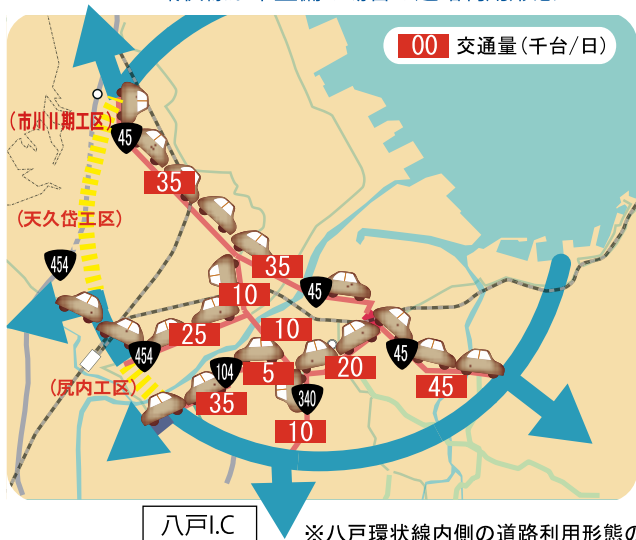
渋滞解消による各施設へのアクセス向上

災害時の避難路としての機能強化・緊急輸送道路としての機能強化



八戸市中心部の渋滞状況

■環状線が未整備の場合の道路利用形態



■環状線が整備された場合の道路利用形態



※八戸環状線内側の道路利用形態の変化(平成42年交通量推計結果 青森県資料)

■一般国道103号 青樫山バイパス(奥入瀬溪流エコロードフェスタ)

課題

国道103号奥入瀬溪流区間は観光道路となっているだけでなく、休屋・宇樽部地区の住民にとっての生活道路としての役割を担う重要な道路です。しかし観光シーズンになると観光バスやマイカーによる渋滞や路上駐車が発生し、観光客が安心して散策できない状況にあるだけでなく、排気ガスにより奥入瀬溪流の自然環境へ大きな負荷を与えています。



課題

現在、迂回路となる七曲区間はつづら折りで幅も狭く、すれ違いが困難な状況となっています。

急勾配・急カーブの続く道路



すれ違い困難な隘路区間



対策

●国道103号青樫山バイパス事業

平成25年度に奥入瀬溪流を迂回する国道103号青樫山バイパスが国の直轄権限代行事業として新規採択されたことにより、奥入瀬溪流の自然保護と利活用を両立させる抜本的な対策が可能となります。

●奥入瀬溪流利活用検討委員会
(平成25年度～)

国道103号奥入瀬(青樫山)バイパス整備により、旧道区間となる奥入瀬溪流の新たな利活用策を検討し、環境保全地域振興の先進モデルとそれを支える新たな交通モードを構築します。



NPO等と連携したガイドツアー等の新たな観光スタイルを模索しながら観光振興を目指します。



【奥入瀬溪流エコツーリズムプロジェクト実行委員会】

県、市、NPOや(一社)十和田奥入瀬観光機構等で構成される。毎年秋に実施しているマイカー規制により生み出される、静かな奥入瀬溪流の自然環境を活用してウォーキングイベント等を施行し、青樫山バイパス整備後の奥入瀬溪流の観光振興策の検討と自然環境保全に対する意識向上を図っています。

令和4年度 奥入瀬溪流の利活用に関する取組状況

■ シャトルバス運行

- 令和4年度は、マイカー交通規制実施時の迂回路となる七曲区間が令和4年8月豪雨により被災したため、マイカー交通規制を中止。しかし、シャトルバスを4日間運行し、「奥入瀬溪流エコロードフェスタ」を3年ぶりに実施した。
- マイカー交通規制を中止したため、令和4年10月29日（土）と10月30日（日）の2日間、石ケ戸等で渋滞対策を併せて実施した。



▲シャトルバス運行中の様子



▲渋滞対策実施の様子

■ グリーンスローモビリティ社会実験

- 将来の規制時におけるモビリティ検討の基礎資料とするため、グリーンスローモビリティを活用したツアーの社会実験を実施。
- 社会実験は、グリスロによるツアーを通じて、下記内容を検証。

- ・グリーンスローモビリティの性能評価
- ・アンケートによるお客様満足度の把握、当該ツアーの支払い意志額の把握



■ ネイチャーツアーの概要

実施区間：奥入瀬溪流館～雲井の滝 往復

定員：6名、所要時間：約2時間

実施期間：令和4年9月、10月、11月（1月はお客様を乗せずに冬季の走行実験）

実施機関：NPO法人奥入瀬自然観光資源研究会

■ 「未来の奥入瀬」体験ツアー試行状況（R4～R6県の重点事業）

- 本地域の観光について、地域全体が連携した滞在型コンテンツの形成に至っておらず、また、バイパス開通後の通年交通規制や新たな交通システムへの地元理解がなかなか進んでいない。
 - 地元の人材育成を見据え、地元の小中学校を対象とした「**未来の奥入瀬**」体験ツアーの実施により、「**地域の素晴らしい自然環境の再認識**」や「**自然保護に関わる公共事業に対する地元理解促進**」を目指すとともに、教育ツアーモデルの構築・定着、観光客受入体制の整備支援を通じて、**将来的な観光地としての価値向上、観光誘客・消費拡大、持続可能な地域づくりとしての雇用創出・将来の担い手育成**につなげていく。
- **令和4年度は、十和田市の小中学生を対象にツアーを試行し、教育ツアーとしての側面から啓蒙促進。**



ツアーに先立ち、十和田湖・奥入瀬溪流の成立や自然、なぜトンネル工事を行っているか等を事前学習



ガイドツアー体験



グリスロ体験



トンネル工事見学



カヌー体験

道路に関する予算

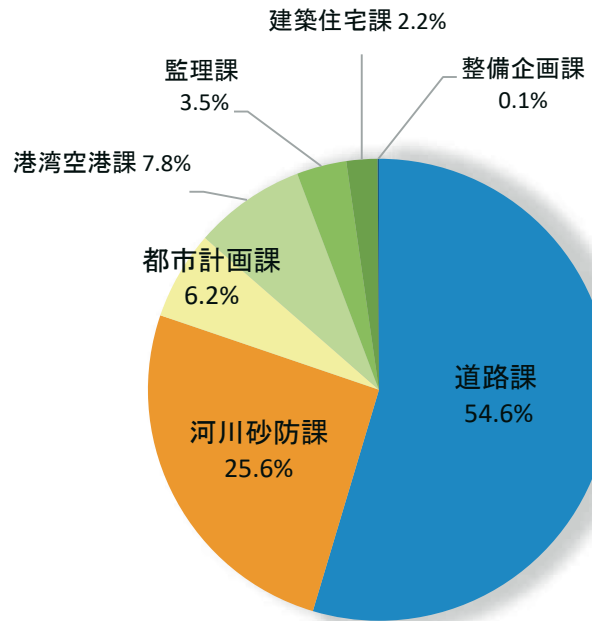
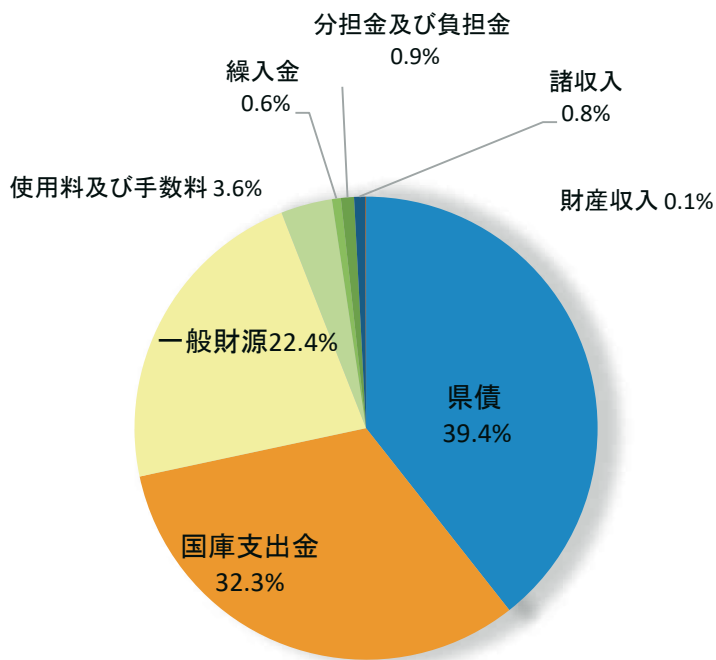
道路事業予算

今後も引き続き、青森県をとりまく社会環境の変化とともに多様化していくニーズを的確に捉えた道路行政を進めていきたいと考えています。

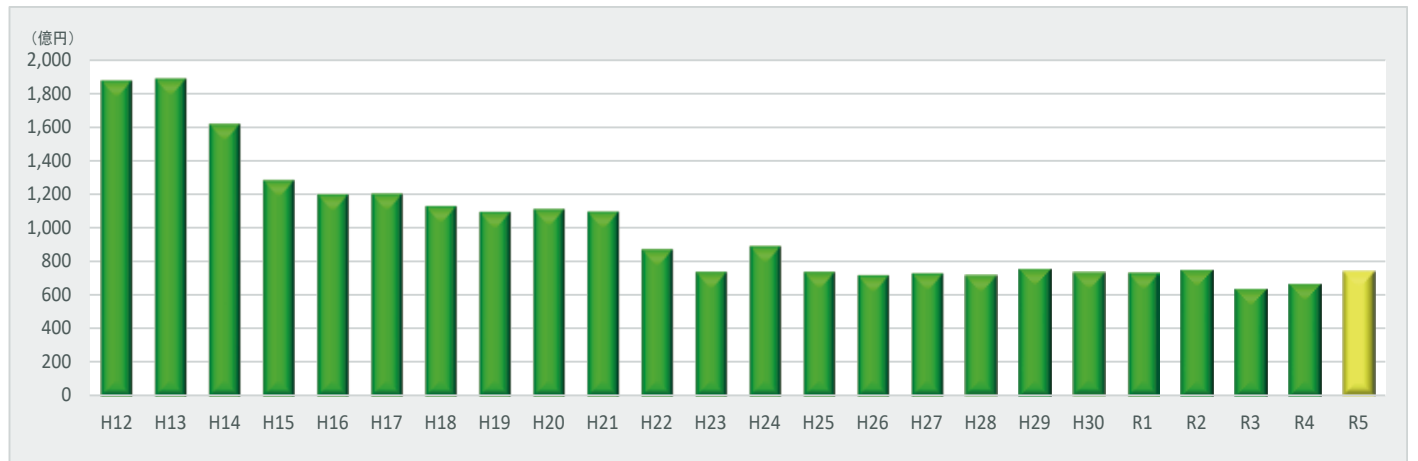
令和5年度 県土整備部一般会計予算(当初)の構成

歳入合計 74,387,042 (単位:千円)

歳出合計 74,387,042 (単位:千円)



県土整備部一般会計予算の推移



公共事業評価

青森県では、公共事業の効率性や実施過程の透明性の向上を図るため、新規箇所については事前評価、継続箇所については継続評価及び再評価、完了箇所については事後評価をそれぞれ実施しています。

公共事業の再評価は平成10年度から、事前評価及び継続評価は平成15年度から、事後評価は平成22年度から実施しています。

〔評価の方法〕

●事前及び継続評価

「社会経済情勢(必要性、有効性、優先性)」「効率性」「環境影響への配慮」の各評価項目の合計評価点数、費用便益比(B/C)などを参考に、事業種別毎の優先順位付けを行い、事業箇所毎に県の対応方針を決定します。

●再評価

事業箇所毎に「事業の進捗状況」「社会経済情勢の変化」「費用対効果分析の要因変化」「コスト縮減・代替案の検討状況」「評価にあたり特に考慮すべき点(住民ニーズの把握状況、環境影響への配慮)」の5大項目の点検結果及び地域の立地特性等を踏まえて、当該事業を継続することが妥当であるかどうかを判定します。

●事後評価

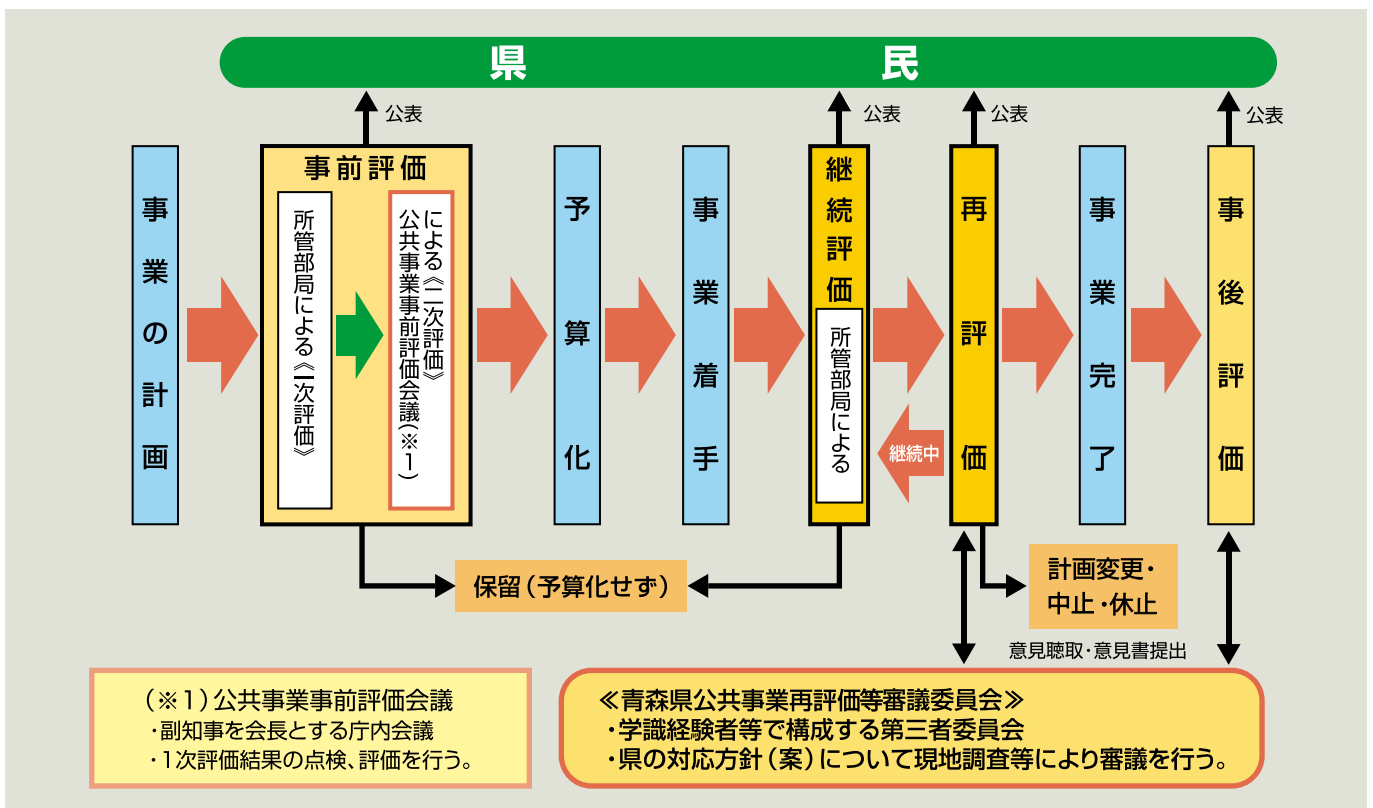
一定条件を満たす箇所について、「社会経済情勢等の変化」「費用対効果分析の算定基礎となった要因の変化」「事業効果の発現状況」「事業により整備された施設の管理状況」「事業実施による環境の変化」「改善措置の必要性」「再度の事後評価の必要性」「今後に向けた留意点」という評価の視点により、同種事業の計画・調査の在り方や事業評価手法の見直し等に反映します。

〔評価の内容〕

【道路事業での公共事業評価の対象】

道路新設・改築事業
(単年度事業は除く。)

公共事業評価の流れ



各評価の時期と概要

- ◆事前評価 ……事業着手前に評価を実施する。
- ◆継続評価 ……同年度に再評価を実施した事業を除き、毎年度評価を実施する。
- ◆再評価 ……次のいずれかに該当した時期に評価を実施する。
 - ◇事業着手後、5年を経過して未着工の事業
 - ◇事業着手後、10年を経過して継続中の事業
 - ◇再評価実施後、5年を経過して継続中の事業
 - ◇社会経済情勢の急激な変化等により、再評価を行う必要が生じた事業
- ◆事後評価 ……事業完了後一定期間(5年)が経過した事業のうち、事業特性等を考慮して選定する事業、社会経済情勢の変化等により事後評価を行う必要が生じた事業について評価を実施する。

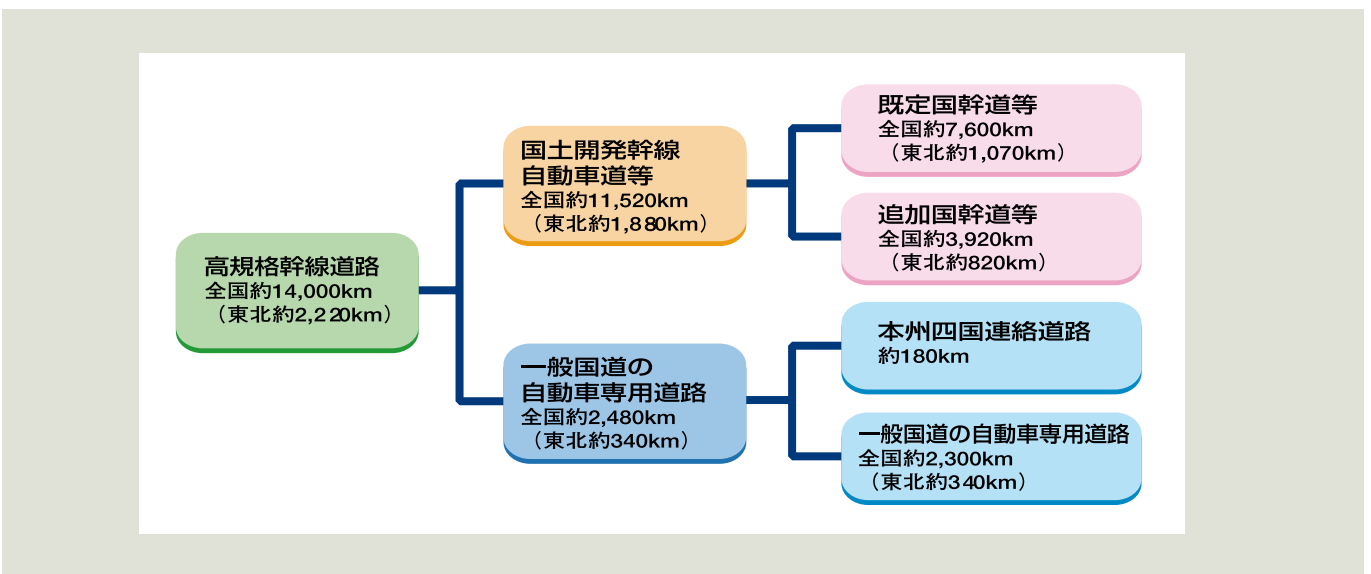
高規格幹線道路

高規格幹線道路とは…

高規格幹線道路とは、自動車の高速交通の確保を図るために必要な道路で、全国的な自動車交通網を構成する自動車専用道路です。第4次全国総合開発計画（昭和62年6月30日閣議決定）において提唱された“交流ネットワーク構想”を実現するため、「高速交通サービスの全国的な普及、主要拠点間の連絡強化」を目標とし、地方中枢・中核都市、地域の発展の核となる地方都市及びその周辺地域等からおおむね1時間程度で利用可能となるよう、14,000kmの高規格幹線道路網が定められました。

■高規格幹線道路の整備体系

高規格幹線道路の整備に当たっては、効率的な整備を図る観点から、路線の計画を勘案し、国土開発幹線自動車道等または、一般国道の自動車専用道路として同時並行的に推進することとしています。このうち、国土開発幹線自動車道等については、昭和62年9月1日の国土開発幹線自動車道建設法の一部改正が行われ、新たに3,920kmが予定路線として位置づけられました。



青森県の高規格幹線道路

令和5年4月現在

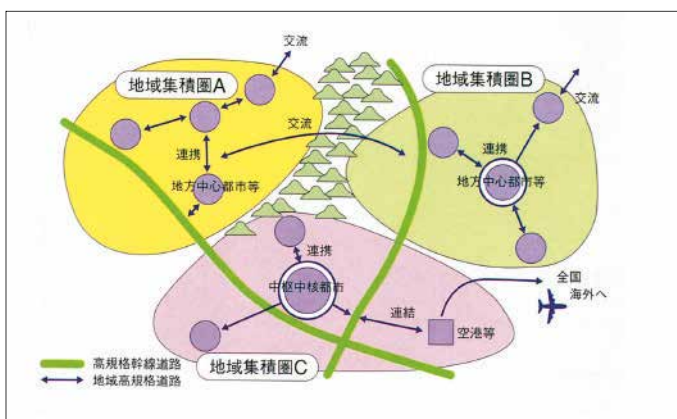
	道路名	全体延長	うち県内延長	県内状況
国土開発幹線自動車道等 国幹道法に基づく高規格幹線道路	東北縦貫自動車道弘前線	698km	57km	全区間供用済
	東北縦貫自動車道八戸線	167km	113km	岩手県境～八戸IC 供用済 L=14.3km
				八戸JCT～八戸北IC 供用済 L=13.2km
八戸北IC～青森東IC 基本計画区間 L=70km				
				有料道路 第二みちのく有料道路 供用済 L=9.7km 百石道路 供用済 L=5.2km 一般国道45号 上北道路 供用済 L=7.7km 上北天間林道路 供用済 L=7.8km 天間林道路 供用済 L=8.3km 青森東IC～青森JCT 供用済 L=15.6km
	日本海沿岸東北自動車道	322km	(一)	(県内区間については東北縦貫自動車道弘前線と重用)
一般国道の自動車専用道路 国土交通大臣の指定に基づく高規格幹線道路	津軽自動車道	38km	38km	青森市浪岡～つがる柏IC 供用済 L=19.5km
				柏浮田道路 事業中 L=12.3km
	鯉ヶ沢道路 供用済 L=3.7km			
				浪岡IC～青森市浪岡 基本計画区間 L=約2km
	三陸沿岸道路	51km	20km	八戸南環状道路 供用済 L=8.6km
				八戸南道路 供用済 L=8.7km
				洋野階上道路(階上町～岩手県境) 供用済 L=3km
			228km	

地域高規格道路とは…

地域高規格道路とは、高規格幹線道路と一体となって幹線道路ネットワークの軸となる道路で、60km/h以上の速度サービスを提供することを目的として、2車線以上の車線を確保し、自動車専用道路、または、これと同程度の機能を有した、質の高いサービスを提供できる道路です。

■地域の暮らしを豊かにする地域高規格道路の整備

活力ある地域づくりを実現するためには、交流の促進により、それぞれの地域が広域的に連携し、全体として実質的な集積規模の拡大を図ることが必要となっています。このため、全国的な高規格幹線道路と一体となって地域の連携を強め、集積を高める地域高規格道路の整備を推進します。



地域高規格道路は広域道路（交流促進型）に位置づけられた区間から選定されます。

青森県の地域高規格道路

令和5年4月現在

	名称	区間	延長	備考	
地域高規格道路	下北半島縦貫道路	むつ市～七戸町	約70km	むつ南バイパス	8.7km (事業中 内3.4km供用済)
				奥内バイパス	11.0km (事業中)
				横浜北バイパス	10.4km (事業中)
				横浜南バイパス	7.0km (事業中)
				吹越バイパス	5.8km (供用済)
				有戸北バイパス	6.3km (供用済)
				有戸バイパス	6.3km (供用済)
				野辺地バイパス	6.9km (供用済)
				野辺地七戸道路	7.1km (事業中)
				弘前黒石IC連絡道路	弘前市～黒石市
西津軽能代沿岸道路	鱒ヶ沢町～秋田県能代市	約90km(県内約60km) 約81km(候補路線除く)	候補路線		



下北半島縦貫道路 吹越バイパス



弘前黒石IC連絡道路

青森県主要幹線道路網

津軽海峡

津軽自動車道

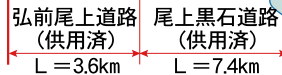


整備計画区間 (供用済)
L = 15.6km

日本海

西津軽能代沿岸道路
L 約90km (県内約60km)

弘前黒石I.C連絡道路



秋田県

能代市

能代南I.C

能代東I.C

二ツ井白神I.C

小繁I.C

今泉I.C

大館能代空港I.C

大館能代空港 (あきた北空港)

鷹巣I.C

二井田真中I.C

次館南I.C

大館北I.C

小坂北I.C

小坂JCT

小坂I.C

十和田I.C

鹿角I.C

八甲田I.C

上北I.C

上北I.C



凡 例

高規格幹線道路	高速道供用済	
	基本計画	
	並行路線供用済	
	並行路線事業中	
	一般国道路線供用済	
	一般国道路線事業中	
地域高規格道路	一般国道路線基本計画	
	供用済	
	事業中	
その他道路	有料道路	
	直轄国道	
その他道路	補助国道	
	候補路線	
	計画路線	

※高速道とは高速自動車国道（A路線）
 ※並行路線とは高速自動車国道に並行する自動車専用道路（A'路線）
 ※一般国道路線とは一般国道自動車専用道路（B路線）

下北半島縦貫道路 L=約70km

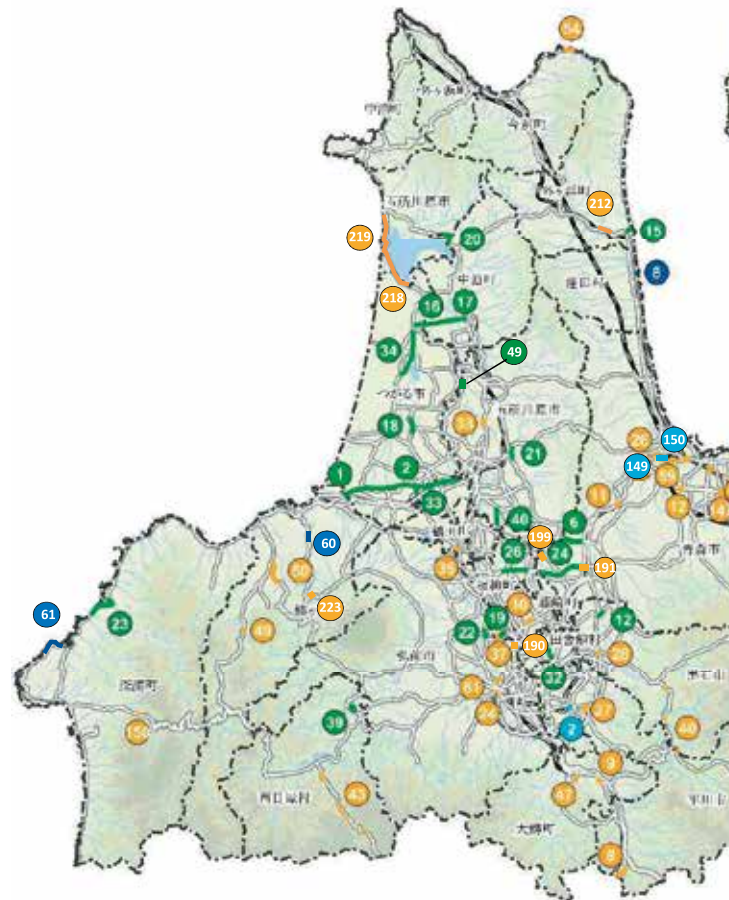
三陸沿岸道路
 （八戸・久慈自動車道）
 L=約51km（県内約20km）

道路の整備に関するプログラム

※当プログラムの記載内容については、現時点の
財政状況、事業の進捗状況等により、今後

交流促進と連携強化を支援するあもりの道づくり

No	路線名	事業概要	前期5年 (2018~2022)	後期5年 (2023~2027)	総事業費 (百万円)
国事業					
1	国道101号(鮎ヶ沢道路)	高規格幹線道路	全線完成(2018)		8,700
2	国道101号(柏浮田道路)	高規格幹線道路	事業継続	事業継続	38,000
3	国道45号(上北天間林道路)	高規格幹線道路	全線完成(2018)		26,900
4	国道45号(天間林道路)	高規格幹線道路	全線完成(2022)		36,000
5	国道45号(洋野階上道路)	高規格幹線道路	全線完成(2020)		110,500
6	国道101号(浪岡五所川原道路)	付加車線	全線完成(2020)		4,300
48	国道4号(野辺地七戸道路)	地域高規格道路	新規着手	事業継続	29,000
県事業					
7	国道279号(むつ南バイパス)	地域高規格道路	部分供用(2019-2022)、事業継続	全線完成	25,000
8	国道279号(横浜北バイパス)	地域高規格道路	事業継続	事業継続	19,600
9	国道279号(横浜南バイパス)	地域高規格道路	事業継続	全線完成	17,400
10	(一)清水川滝沢野内線(三本木)	現道拡幅	全線完成(2021)		300
11	(一)後平馬屋尻線(滝沢)	現道拡幅	事業継続	全線完成	800
12	(一)畑中竹鼻線(小屋敷~二双子)	バイパス	全線完成(2021)		250
13	(一)水喰上北町停車場線(甲地)	バイパス	全線完成(2019)		1,760
14	(主)東北横浜線(戸鏡)	バイパス	事業継続	全線完成	2,100
15	国道280号(蓬田~蟹田バイパス)	バイパス	事業継続	事業継続	9,000
16	(主)五所川原車力線(福浦~車力)	バイパス	全線完成(2020)		12,059
17	(一)神原中里線(宮川)	バイパス	全線完成(2020)		1,073
18	(一)再賀木造線(千年~善積)	バイパス	事業継続	事業継続	3,400
19	(一)前坂藤崎線(白子)	バイパス	全線完成(2018)		780
20	国道339号(今泉~太田バイパス)	バイパス	事業継続	全線完成	2,100
21	(主)青森五所川原線(飯詰)	バイパス	事業継続	事業継続	1,300
22	(主)弘前柏線(中崎)	バイパス	事業継続	全線完成	1,600
23	国道101号(追良瀬Ⅱ期バイパス)	バイパス	事業継続	事業継続	5,100
24	(一)常海橋線(福館~女鹿沢)	バイパス	事業継続	事業継続	4,000
25	国道338号(白糖バイパス)	バイパス	事業継続	事業継続	9,800
26	(主)五所川原岩木線(高増)	バイパス	事業継続	事業継続	1,700
27	国道394号(榎林バイパス)	バイパス	事業継続	事業継続	5,900
28	国道338号(砂子又)	バイパス	全線完成(2020)		240
29	国道338号(大湊Ⅱ期バイパス)	バイパス	事業継続	事業継続	4,200
30	(一)後平青森線(下志多)	現道拡幅	事業継続	全線完成	700
31	(一)後平馬屋尻線(五摩ノ下)	現道拡幅	全線完成(2021)		340
32	(一)常盤新山線(前田屋敷~畑中)	バイパス	新規着手	事業継続	1,500
33	(一)稲盛千代町山田線(下相野)	バイパス	新規着手	事業継続	1,100
34	(主)鮎ヶ沢蟹田線(牛湯)	バイパス	新規着手	事業継続	3,800
35	(都)白銀市川環状線(尻内)	バイパス	事業継続	全線完成	13,500
36	国道454号(豊崎町)	バイパス	事業継続	事業継続	2,000
37	(主)八戸環状線(天久岱)	バイパス	事業継続	事業継続	9,600
38	(村)古野・大川目線(易国間)	新設	全線完成(2022)		1,240
39	(一)相馬常盤野線(大秋)	現道拡幅	全線完成(2020)		800
40	(主)五所川原黒石線(梅田)	現道拡幅	事業継続	全線完成	2,700
41	国道279号(二枚橋バイパス)	バイパス	全線完成(2020)		6,250
42	(一)櫛引上名久井三戸線(坩渡)	現道拡幅	新規着手	全線完成	600
43	国道279号(木野部)	バイパス	新規着手	事業継続	10,600
44	(主)三沢七戸線(春日台~犬落瀬)	バイパス	新規着手	事業継続	1,500
45	国道279号(奥内バイパス)	地域高規格道路	新規着手	事業継続	24,900
46	(主)八戸環状線(市川Ⅱ期)	バイパス	新規着手	事業継続	4,900
47	(一)後平青森線(後平バイパス)	バイパス	新規着手	事業継続	4,200
49	(一)薛田五所川原線(薛田橋)	現道拡幅	事業継続	全線完成(2024)	630



雪国あもりの暮らしを支える道づくり

No	路線名	事業概要	前期5年 (2018~2022)	後期5年 (2023~2027)	総事業費 (百万円)
国事業					
1	国道4号ほか	除雪	事業継続	事業継続	
県事業					
2	国道101号ほか11路線	除雪	事業継続	事業継続	
3	(主)八戸階上線ほか46路線	除雪	事業継続	事業継続	
4	(一)金木停車場線ほか183路線	除雪	事業継続	事業継続	
5	国道101号ほか11路線	除雪機械購入	事業継続	事業継続	
6	(主)八戸階上線ほか46路線	除雪機械購入	事業継続	事業継続	
7	(一)金木停車場線ほか183路線	除雪機械購入	事業継続	事業継続	
8	国道280号(瀬辺地~広瀬)	融雪溝設置	全線完成(2021)		
9	国道102号(奥瀬)	防雪施設設置	全線完成(2021)		
58	(一)戸来十和田線(横倉)	堆雪幅確保	全線完成(2022)		1,042
59	(一)戸来十和田線(中渡~松屋敷)	堆雪幅確保	事業継続	事業継続	700
60	(主)弘前岳鮎ヶ沢線(中村町)	堆雪幅確保	事業継続	全線完成(2025)	627
61	国道101号(横橋)	堆雪幅確保	事業継続	全線完成(2025)	621
62	国道338号(川内町松川)	融雪溝設置	事業継続	全線完成(2024)	620

※ No.1~7については管理路線全域となるため
位置図はありません。

都市機能の高度化を支援するあもりの道づくり

No	路線名	事業概要	前期5年 (2018~2022)	後期5年 (2023~2027)	総事業費 (百万円)
国事業					
1	国道104号 青森104号電線共同溝	電線地中化	事業継続	事業継続	
31	国道45号 青森45号電線共同溝	電線地中化	事業継続	事業継続	
県事業					
2	(一)町居平賀停車場線	電線地中化	全線完成(2021)		
3	(都)沼館三日町線	電線地中化	事業継続	全線完成	
149	(都)西滝新城線(新城1工区)	電線地中化	新規着手	事業継続	
150	(都)西滝新城線(新城2工区)	電線地中化	-	新規着手	

あもりの自然と調和し活用する道づくり

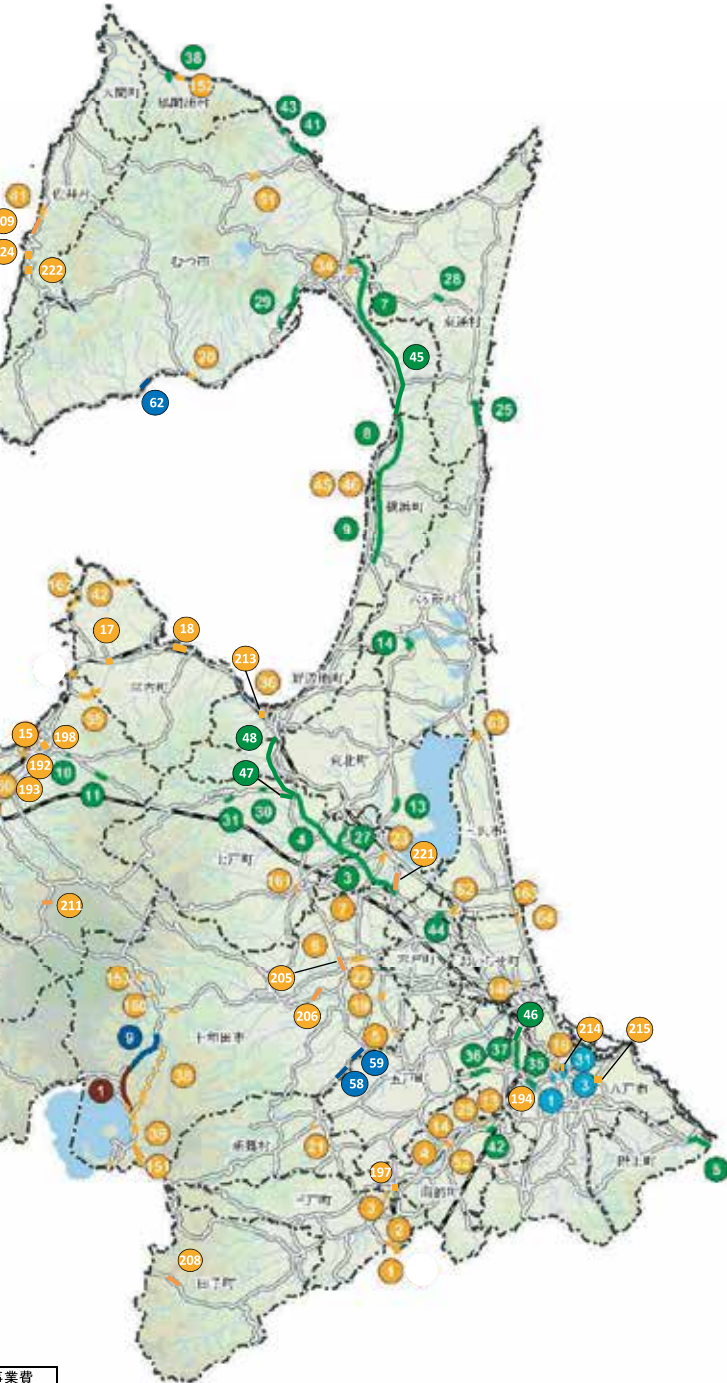
No	路線名	事業概要	前期5年 (2018~2022)	後期5年 (2023~2027)	総事業費 (百万円)
国事業					
1	国道103号(奥入瀬(青楓山バイパス))	バイパス	事業継続	事業継続	

[国、県事業]

※市町村事業は、地域別位置図のみに記載しています。

プログラム位置図（全県）

点での今後の実施の目標を示したものであり、適宜見直ししていくこととしております。



事業費 (百万円)
673
4,110
2,900
2,070

事業費 (百万円)
23,000

安全で安心な暮らしを守るあおもりの道づくり

No	路線名	事業概要	前期5年 (2018~2022)	後期5年 (2023~2027)	総事業費 (百万円)
国事業					
1	国道4号(青岩)	歩道整備	全線完成(2021)		
2	国道4号(目時)	登坂車線整備	事業継続	事業継続	
3	国道4号(下比良)	交差点改良	全線完成(2020)		
4	国道4号(剣吉)	視距改良	事業継続	事業継続	
5	国道4号(一本松)	登坂車線整備	全線完成(2020)		
6	国道4号(井戸頭)	交差点改良	全線完成(2019)		
7	国道4号(洞内)	付加車線整備	全線完成(2019)		
8	国道7号(矢立)	登坂車線整備	事業継続	事業継続	
9	国道7号(長峰)	歩道整備	全線完成(2018)		
10	国道7号(榊)	交差点改良	事業継続	事業継続	
12	国道7号(安田)	交差点改良	事業継続	事業継続	
13	国道104号(高橋)	線形改良	事業継続	事業継続	
14	国道104号(岩ノ下)	交差点改良	全線完成(2018)		
15	国道4号ほか橋梁補修	橋梁補修	事業継続	事業継続	
16	国道45号ほか橋梁耐震補強	橋梁耐震補強	事業継続	事業継続	
17	国道4号ほか舗装補修	舗装補修	事業継続	事業継続	
18	国道4号ほか橋梁等点検	橋梁等点検	事業継続	事業継続	
19	国道4号ほか施設点検補修	防災施設点検	事業継続	事業継続	
147	国道7号(浜田)	交差点改良	事業継続	事業継続	
148	国道45号(下田)	交差点改良	事業継続	事業継続	
190	国道7号(津賀野)	交差点改良	事業継続	事業継続	
191	国道7号(杉沢)	交差点改良	全線完成(2021)		
192	国道7号(戸山)	交差点改良	事業継続	事業継続	
193	国道7号(駒込)	交差点改良	事業継続	事業継続	
194	国道104号(田面木)	交差点改良	事業継続	事業継続	
213	国道4号(二十平)	交差点改良	新規着手	事業継続	
214	国道45号(四本松)	交差点改良	新規着手	事業継続	
215	国道45号(城下)	交差点改良	新規着手	事業継続	
県事業					
20	国道338号(田野沢)	歩道整備	事業継続	全線完成	500
21	国道454号(金ヶ沢)	歩道整備	事業継続	全線完成	725
22	(主)三沢十和田線(一本木沢)	自転車歩行者道整備	事業継続	全線完成	800
23	(一)上野十和田線(上野)	歩道整備	事業継続	全線完成	1,100
24	(一)石川土手町線(住吉町)	交差点改良	全線完成(2021)		680
25	(一)苔地内線(苔米地(1))	歩道整備	事業継続	全線完成	
26	(一)津軽新城停車場油川線(新城)	歩道整備	事業継続	全線完成	970
27	(一)吹上金屋黒石線(町居)	歩道整備	事業継続	全線完成	700
28	(一)吹上金屋黒石線(長崎)	歩道整備	事業継続	全線完成	700
31	補助国道(県管理全線)	橋梁点検	事業継続	事業継続	
32	都道府県道(県管理全線)	橋梁点検	事業継続	事業継続	
33	国道339号(新長富橋)	橋梁架替	事業継続	全線完成	1,160
34	(主)むつ尻尾崎線(赤坂橋)	橋梁架替	事業継続	全線完成	1,400
35	(一)米山高瀬川線(保安橋)	橋梁架替	事業継続	全線完成(2023)	3,916
36	(一)馬門野辺地線(野辺地橋)	橋梁架替	事業継続	全線完成	1,570
37	(一)前坂藤崎線(藤崎橋)	橋梁架替	事業継続	全線完成	1,730
38	国道102号(奥瀬2)	災害防除	事業継続	全線完成	814
39	国道103号(奥瀬1)	災害防除	事業継続	全線完成	1,079
40	国道102号(板留～葛川)	災害防除	事業継続	全線完成(2023)	1,150
41	国道338号(長後)	災害防除	事業継続	事業継続	1,000
42	(主)夏泊公園線(東田沢～稲生)	災害防除	全線完成(2020)		
43	(一)西目屋二ツ井線(湯ノ沢国有林)	災害防除	全線完成(2021)		
44	県管理道路	舗装点検	事業継続	事業継続	
45	(一)泊陸橋横浜停車場線(重点「道の駅」よこほま)	自転車・歩行者道等整備	全線完成(2020)		
46	(一)泊陸橋横浜停車場線(重点「道の駅」よこほま)	防災施設等整備	全線完成(2020)		
47	(一)鷹籠大野線ほか(あじやら高円トンネルほか)	トンネル補修	新規着手	事業継続	
49	(町)赤石溪流線(一ツ森町)	バイパス	全線完成(2019)		
50	(一)松代町陸奥赤石停車場線(深谷町1)	現道拡幅	事業継続	事業継続	2,000
51	(主)むつ恐山公園大畑線(葉色沢)	現道拡幅	全線完成(2019)		982
52	(主)名川階上線(剣吉路切)	現道拡幅	全線完成(2019)		1,947
54	国道280号(砂ヶ森)	現道拡幅	全線完成		1,700
55	(一)増田浅虫線(増田～浅虫)	現道拡幅	事業継続	全線完成	1,000
59	(都)西滝新城線(石江)	現道拡幅	全線完成(2020)		4,282
60	(都)堤町通り浜田線	現道拡幅	事業継続	全線完成	2,500
61	(都)紺屋野田線	現道拡幅	事業継続	全線完成	3,720
62	(主)三沢十和田線(古間木橋)	橋梁架替	事業継続	全線完成(2024)	5,140
63	国道338号(高瀬川第二橋)	橋梁架替	全線完成(2022)		1,460
64	国道338号(二川目)	現道拡幅	事業継続	全線完成	1,380
150	(主)岩崎西目屋弘前線(西岩崎山4)	災害防除	全線完成(2021)		
151	国道454号(宇樽部1)	災害防除	事業継続	全線完成(2024)	583
152	国道279号(易国間3)	災害防除	事業継続	全線完成(2024)	594
153	国道103号ほか(鷹トンネルほか)	トンネル補修	新規着手	事業継続	
160	国道103号(通天橋)	橋梁架替	事業継続	事業継続	600
161	国道394号(西上川原)	歩道整備	事業継続	全線完成	
162	夏泊公園線(久慈ノ浜)	歩道整備	事業継続	全線完成(2027)	500
163	国道338号(三川目)	歩道整備	新規着手	全線完成	560
195	(一)荒川青森停車場線ほか橋梁補修	橋梁補修	事業継続	事業継続	
196	国道394号ほか橋梁耐震補強	橋梁耐震補強	事業継続	事業継続	
197	(一)三戸南部線(古牧橋)	橋梁架替	新規着手	全線完成	1,240
198	青森森インター線(馬屋尻)	歩道整備	新規着手	全線完成(2027)	500
199	五所川原原回線(下石川)	歩道整備	新規着手	全線完成(2027)	700
205	(主)十和田三戸線(稲生橋)	橋梁架替	新規着手	全線完成	520
206	(一)中ノ渡十和田線(大正橋)	橋梁架替	新規着手	全線完成	1,000
207	国道102号(奥瀬外)	舗装補修	事業継続	全線完成(2024)	550
208	国道104号(白萩平外)	舗装補修	事業継続	全線完成(2024)	500
209	国道338号(原田外)	舗装補修	事業継続	全線完成(2024)	630
210	国道394号(駒込外)	舗装補修	事業継続	全線完成(2024)	500
211	国道394号(倉内外)	舗装補修	新規着手	全線完成(2024)	500
212	磐ヶ沢蟹田線(蟹田小国外)	舗装補修	事業継続	全線完成(2024)	500
217	国道103号ほか(青森市ほか)	道路照明LED化	事業継続	全線完成(2027)	900
218	磐ヶ沢蟹田線(十三外)	舗装補修	事業継続	全線完成(2024)	500
219	磐ヶ沢蟹田線(車力町外)	舗装補修	事業継続	全線完成(2024)	500
220	弘前柏線(種市外)	舗装補修	事業継続	全線完成(2024)	590
221	折茂上北町停車場線(上北南)	舗装補修	事業継続	全線完成(2024)	500
222	国道338号(牛滝)	災害防除	事業継続	事業継続	632
223	岩木山環状線(芦沼町)	災害防除	事業継続	全線完成(2025)	512
224	国道338号(仏ヶ浦)	災害防除	事業継続	全線完成(2025)	551

※ No.31、32、44、195、196、217については管理路線全域となるため位置図はありません。

[令和5年3月末時点]

青森のこれまでのみちづくり

普段、私たちが何気なく使っている道路は、古くは街道や隧道などといった時代から、交流、流通などの重要な施設として、その役割を担ってきました。私たちは先人の残したみちづくりの形跡を振り返り、その情熱を受け継ぎ、新たな道づくりに反映したいと考えています。

- 大正 9 年 ● 第1次道路改良整備計画策定 (8月10日)
- 昭和23年 ● 本格的道路改良工事実施 (青森三本木線・蟹田小泊港線)
- 昭和26年 ● 蓬萊橋竣工 (戦後初の永久橋)
- 昭和29年 ● 第1次道路整備五カ年計画
- 昭和32年 ● 青森県でガードレールを初めて採用
- 昭和34年 ● 十三橋開通
- 昭和35年 ● 日本初のスノーシェッド (大釈迦) 完成
- 昭和43年 ● 十和田湖おいらせライン開通。かもしかライン開通
● 日本初の海水利用消雪パイプ設置 (青森停車場線)
- 昭和44年 ● 八甲田大橋完成
● うみねこライン全線完成
● さるかガーデンライン全線完成
● 津軽よされライン全線舗装完成
- 昭和45年 ● 津軽大橋完成
● むつはまなすライン全線舗装完成
● 西十和田いで湯ライン全線舗装完成
- 昭和46年 ● 青函トンネル起工式
- 昭和47年 ● 十和田ゴールドライン全線舗装完成
- 昭和48年 ● 白萩ライン全線舗装完成
- 昭和49年 ● 国道101号全線舗装完成
● 八戸港線新湊橋完成
- 昭和51年 ● やまなみライン全線舗装完成
● 八戸大橋開通
● 津軽中山ライン全線舗装完成
● 津軽あすなろライン全線舗装完成
- 昭和52年 ● 青森浪岡線全線舗装完成
- 昭和53年 ● 海峡ライン開通
- 昭和54年 ● 東北縦貫自動車道 (大鰐・弘前IC～青森IC間) 開通
● 十三湖大橋架替完成
- 昭和55年 ● みちのく有料道路開通
● 東北縦貫自動車道弘前線 (碓ヶ関IC～大鰐・弘前IC間) 開通
- 昭和59年 ● 竜泊ライン全面開通
- 昭和60年 ● 青森中央大橋有料道路開通
● 青函トンネル本坑貫通
- 昭和61年 ● 東北縦貫自動車道弘前線全面開通 (県内分)
● 東北縦貫自動車道八戸線 (一戸IC～八戸IC間) 開通
- 昭和62年 ● 新青森空港開港
● 青森空港有料道路開通
● 青函トンネル開通
● 第二みちのく有料道路着工
- 昭和63年 ● 竜泊ライン全面舗装
- 平成元年 ● 東北縦貫自動車道八戸線 (安代JCT～一戸IC間) 開通
- 平成 2 年 ● 国道280号 (塩越バイパス) 完成
- 平成 3 年 ● 津軽自動車道 (浪岡町～五所川原市)、八戸・久慈自動車道 (八戸市根城～妙) 整備計画区間に格上げ
● 津軽自動車道着工 (県事業)
● 八戸・久慈自動車道着工
● 国道338号 (牛滝～野平バイパス) 完成
● (主) 夏泊公園線 (浅所工区) [新雷電橋] 完成

- 平成 4 年 ● 国道103号、394号追加指定
● 第二みちのく有料道路開通
- 平成 5 年 ● 第11次道路整備五箇年計画発足 (76.0兆円)
● 津軽自動車道が国直轄事業へ移行
● 国道7号古川跨線橋全面開通 (直轄事業)
● 国道280号内真部バイパス完成
- 平成 6 年 ● 地域高規格道路候補路線として西津軽能代沿岸道路が、計画路線として下北半島縦貫道路 (国道279号)・弘前黒石IC連絡道路 (国道102号) が指定
● 国道338号 (鷹架バイパス) 完成
- 平成 7 年 ● 下北半島縦貫道路 (有戸北バイパス)、弘前黒石IC連絡道路が調査区間に指定
● 下北半島縦貫道路 (野辺地バイパス・有戸バイパス) が整備区間に指定
● 国道279号 (正津川バイパス) 完成
● 国道394号 (城ヶ倉バイパス) [城ヶ倉大橋] 完成
● (主) 八戸百石線 (開運橋) [4車拡幅] 完成
- 平成 8 年 ● 国道101号大和田橋 (鯉ヶ沢バイパス) 完成
● (主) 八戸三沢線 (尻内橋) 完成
● (一) 大泉姥滝線 (栄橋) 完成
● (一) 鶴田五所川原自転車道線完成
● 弘前黒石IC連絡道路 (弘前尾上道路) が整備区間に指定
- 平成 9 年 ● 国道102号 (奥入瀬バイパス) 完成
● 国道103号 (横内バイパス) 完成
● 国道338号栗山大橋 (むつバイパス) 完成
● 国道339号 (鶴田～五所川原バイパス) 完成
● (主) 八戸環状線 (沢里工区) [沢里橋] 完成
● (主) 鯉ヶ沢蟹田線 (やまなみトンネル) 完成
- 平成10年 ● 新道路整備五箇年計画発足 (78.0兆円)
● 弘前黒石IC連絡道路 (尾上黒石道路) が整備区間に指定
● 下北縦貫道路 (吹越バイパス) が調査区間に指定
● 国道102号 (葛川バイパス) 完成
● (一) 弘前平賀線 (新大豊橋) 完成～交流ふれあい事業～
- 平成11年 ● 下北半島縦貫道路 (むつ南バイパス) が調査区間に、(有戸北バイパス) が整備区間に指定
● 国道102号弘南大橋 (弘前尾上道路) 完成
● (主) 鯉ヶ沢蟹田線 (大平～今泉工区) 完成
- 平成12年 ● 八戸・久慈自動車道 (八戸市～階上町) が整備計画区間に格上げ
● 国道102号 (弘前尾上道路) 完成
● 国道339号 (小泊山II・III期拡幅) 完成
● 国道394号 (南中野バイパス) 完成
● 国道338号 (むつバイパス) 完成
● 国道280号 (内真部～蓬田バイパス) 部分供用
● 国道102号 (豊岡バイパス) 完成
● 主要地方道大鰐浪岡線 (大坊～吹上) 完成
● 一般県道弘前平賀線 (新里～大光寺) 完成
- 平成13年 ● 本省再編 (国土交通省) スタート
● 県組織改革 (県土整備部道路課) スタート
● 国道280号 (野田バイパス) 完成
● 国道339号 (鐘泊)
● 主要地方道三沢十和田線 (七百バイパス) 部分供用
● 一般県道福山五所川原線 (石岡バイパス) 完成

■ 青森県の道路ベスト5

橋梁延長ランキング・ベスト5

橋名	路線名	位置	河川名等	橋長(m)	幅員(m)	供用年	形式
1 八戸大橋	(臨)白銀北沼線	八戸市	八戸港	1,323.7	19.5	S51	鋼箱桁橋
2 青森ベイブリッジ	(臨)2号線	青森市	青森港	1,219.0	25.0	H4	PC斜張橋
3 青森高架橋	国道7号	青森市	JR津軽線他	993.8	10.0	S47	単純PCポステンT桁等
4 きまござわ 猿子沢大橋	国道338号	六ヶ所村	老部川	675.0	16.8	H15	鋼板桁橋
5 沼館大橋	(市)沼館下長線	八戸市	馬淵川	641.0	19.8	H22	PC箱桁橋

八戸大橋



- 平成14年
- 県組織改革（県土整備事務所スタート）
 - 国道101号（鯉ヶ沢バイパス）完成
 - 国道280号
 - 一般国道338号（尾駈バイパス）完成
 - 主要地方道岩崎西目屋弘前線（東目屋バイパス）部分供用
 - 主要地方道五所川原浪岡線（花岡大橋）完成
 - 主要地方道五所川原岩木線（高杉バイパス）完成
 - 一般県道関ヶ平五代線（岩木菫橋）完成
 - 津軽自動車道（浪岡IC～五所川原東IC）完成

- 平成15年
- 県組織改革（庁内グループ制スタート）
 - 東北縦貫自動車道八戸線（岩渡～諏訪沢）完成
 - 下北半島縦貫道路（むつ南バイパス）が整備区間に指定
 - 主要地方道十和田三沢線（滝沢～戸来工区）完成
 - 一般県道小友板柳停車場線（津軽りんご大橋）完成
 - 都市計画道路白銀市川環状線及び主要地方道八戸三沢線（碓田～上市川工区）完成

- 平成16年
- 八戸・久慈自動車道（八戸是川IC～八戸南IC）完成
 - 弘前黒石IC連絡道路（尾上黒石道路）完成
 - 下北半島縦貫道路（有戸バイパス）完成
 - 下北半島縦貫道路（野辺地バイパス）部分供用
 - 鯉ヶ沢蟹田線（孤槌工区）完成
 - 五戸下田停車場線（三本木工区）完成
 - 東北縦貫自動車道八戸線（青森自動車道 救急車退出路）供用

- 平成17年
- 下北半島縦貫道路（野辺地バイパス）完成
 - 主要地方道青森浪岡線（高田バイパス）完成
 - 弘前環状線（清瀬橋）完成
 - 八戸環状線（市川町工区）完成
 - 都市計画道路下白銀町福村線 暫定2車線供用

- 平成18年
- 一般国道103号（宇樽部バイパス）完成
 - 一般国道454号（正法寺バイパス）完成
 - 一般国道454号（扇田バイパス）完成
 - 主要地方道八戸野辺地線（市川2工区）完成
 - 都市計画道路下白銀町福村線（完成）
 - 主要地方道青森浪岡線（青森空港立体駐車場）全面供用

- 平成19年
- 県組織改革（全域で地域県民局スタート）
 - 八戸・久慈自動車道（八戸南IC～種差海岸階上岳IC）完成
 - 国道101号（追良瀬バイパス）完成
 - 国道101号（田野沢バイパス）完成
 - 国道338号（大間バイパス）完成
 - 国道339号（板柳バイパス）完成
 - 主要地方道岩崎西目屋弘前線（ダムサイト迂回路）完成
 - 下北半島縦貫道路（野辺地バイパス救急車退出路）供用
 - 津軽自動車道（五所川原東IC～五所川原北IC）完成
 - 主要地方道青森田代十和田線（法量工区）完成

- 平成20年
- 下北半島縦貫道路（吹越バイパス）が整備区間に指定
 - 主要地方道弘前柏線（桑野木田工区）完成
 - 国道339号（五所川原北バイパス）完成
 - 主要地方道八戸三沢線（張田II期バイパス）完成
 - 国道338号（宇曾利バイパス）完成
 - 都市計画道路弘前黒石線完成
 - 主要地方道弘前岳鯉ヶ沢線（宮地工区）完成

- 平成21年
- 主要地方道岩崎西目屋弘前線（村元工区）完成
 - 一般県道桑野木田南広森線（柴田工区）完成
 - 主要地方道川内佐井線（佐井工区）完成
 - 国道340号（泥障作II期バイパス）完成
 - 都市計画道路犬落瀬金矢線完成

- 平成22年
- 国道101号（北金ヶ沢バイパス）完成
 - 主要地方道大鰐浪岡線（乳井工区）完成
 - 国道338号（長後バイパス）完成
 - 主要地方道青森環状野内線（細越バイパス）完成
 - 一般県道南部田子線（道ノ上工区）完成
 - 国道280号（蓬田～蟹田バイパス）I期工区完成
 - 一般県道松野木姥苧線（福岡工区）完成
 - 主要地方道大鰐浪岡線（アッブル大橋）完成
 - 都市計画道路弘前宮地線完成

- 平成23年
- 主要地方道岩崎西目屋弘前線（村市バイパス）完成
 - 都市計画道路内環状線（石江工区）完成

- 平成24年
- 下北半島縦貫道路（有戸北バイパス）完成
 - 主要地方道夏泊公園線（浦田～茂浦工区）完成
 - 国道338号（白糠バイパスI期工区）完成

- 平成25年
- 国道45号（八戸南道路）完成
 - 国道45号（上北道路）完成
 - 下北半島縦貫道路（横浜南バイパス）が整備区間に指定

- 平成26年
- 主要地方道八戸環状線（糠塚工区）完成
 - 国道45号（八戸南環状道路）完成
 - 主要地方道岩崎西目屋弘前線（津軽ダム付替）全線完成
 - 国道339号（五所川原北バイパス）部分供用
 - 主要地方道青森浪岡線（八ツ役工区）完成
 - 津軽自動車道（五所川原西バイパス）完成

- 平成27年
- 都市計画道路白銀市川環状線（中居林工区）完成
 - 国道454号（豊間内工区）完成
 - 主要地方道五所川原岩木線（掛落林工区）完成
 - 一般県道常海橋銀線（上常海橋～福館工区）完成

- 平成28年
- 下北半島縦貫道路（横浜北バイパス）が整備区間に指定
 - 国道101号（鯉ヶ沢道路）部分供用
 - 都市計画道路中央町金矢線 完成
 - 主要地方道東北横浜線（室ノ久保工区）完成

- 平成29年
- 国道280号（蓬田～蟹田バイパス）部分供用
 - 下北半島縦貫道路（吹越バイパス）完成

- 平成30年
- 国道394号（榎林バイパス）部分供用
 - 国道45号（上北天間林道路）完成
 - 津軽自動車道（鯉ヶ沢道路）完成

- 平成31(令和元年)
- 下北半島縦貫道路（むつ南バイパス）部分供用

- 令和2年
- 国道45号（洋野階上道路）完成
 - 主要地方道五所川原車力線（福浦～車力工区）完成
 - 一般県道相馬常磐野線（大秋工区）完成
 - 国道338号（砂子又工区）完成
 - 国道279号（二枚橋工区）完成

- 令和3年
- 国道338号（高瀬川第二橋）完成

- 令和4年
- 上北自動車道（天間林道路）完成
 - 下北半島縦貫道路（むつ南バイパス）部分供用
 - 八戸都市計画道路3・5・1 沼館三日町線 部分供用

トンネル延長ランキング・ベスト5

	トンネル名	路線名	地名	延長	車道幅員/有効高	建設年次
1	みちのく	後平馬屋尻線	七戸町	3,178.0m	6.5/4.7m	S55
2	坂梨	東北縦貫自動車道	平川市	1,502.0m※	7.0/4.5m	S61
3	泊・白糠	国道338号	六ヶ所村 東通村	1,237.0m	6.0/4.7m	H24
4	宇樽部	国道103号	十和田市	1,145.0m	6.5/4.6m	H18
5	是川	国道45号 (八戸南環状道路)	八戸市	973.0m	7.0/4.7m	H25

※全長4,265.0mの内、青森県分（1,502.0m）、秋田県分（2,763.0m）

みちのくトンネル



■ ホームページ・SNSでの情報提供

○ 青森の道路情報満載サイトでござる！ ○

以下のサイトでご覧になれます！ <http://www.koutsu-aomori.com>

青森県幹線道路協議会とNPO法人青森ITSクラブが連携し、青森県内の道路に関する各種情報を『青森みち情報』という名前で情報提供しています。安全に道路を利用して頂くための参考情報としてパソコン・携帯でご活用下さい。



主な提供情報

- 青森県内の国道・県道においての雪や災害による緊急規制 (通行止め) 情報
- ライブカメラ情報
- 渋滞情報 (青森市、弘前市、八戸市)
※(公財)日本道路交通情報センター
- 公共交通情報 (バス、鉄道、航空、フェリーなど)
- 気象情報 (青森県内の警報・注意報)
- 冬期閉鎖路線情報 (冬期間のみ提供しております。)

○ 最新の道路情報をゲット！ ○

Twitter(ツイッター)で道路情報を発信しています！



■道路に関する情報提供（雪道安全マップ）

雪道安全マップとは・・・

冬期間閉鎖になる道路の情報や、雪道走行の注意点、除雪に関する問い合わせ先などが掲載されている冬には欠かせないマップです。

○雪道安全マップ紹介サイト○

以下のサイトでご覧になれます！

<http://www.pref.aomori.lg.jp/soshiki/kendo/doro/yukimitianzen-map.html>



■青森県の橋梁アセットマネジメント事業

○橋梁アセットマネジメント事業紹介サイト○

以下のサイトでご覧になれます！

<http://www.pref.aomori.lg.jp/soshiki/kendo/doro/kyouryou-asset>



親しみやすい潤いのある交流の場



「道の駅」は、鉄道の駅があるように、一般道路にも駅を。そんな発想から生まれました。

道路利用者のための「休憩機能」、道路利用者や地域の方々のための「情報発信機能」、そして「道の駅」をきっかけに町と町とが手を結び、活力ある地域づくりを共に行うための「地域の連携機能」の、3つの機能を併せ持つ休憩施設です。

青森県内では、令和4年12月までに28駅が登録されています。

道の駅 3つの機能



道路管理体制

区分	名称	管理主体
高速自動車国道	東北縦貫自動車道	東日本高速道路(株)東北支社が管理しています。
一般国道	指定区間(国道4号、7号、45号、101号の一部、104号の一部)	国土交通省東北地方整備局青森河川国道事務所が管理しています。
	国道101号(一部)、102号、103号、104号(一部)、279号、280号、282号、338号、339号、340号、394号、454号 計12路線	青森県が管理しています。
県道	主要地方道47路線	青森県が管理しています。
	一般県道185路線	
有料道路	みちのく有料道路	青森県道路公社が管理しています。
	第二みちのく有料道路	
	青森空港有料道路	
市町村道		各市町村が管理しています。

道路緊急ダイヤル #9910 道路の異常を発見したら…**24時間受付**

●通報は、無料です。

●異常箇所特定のため、道筋名、進行方向、キロポスト、周辺の施設名等をご確認ください。安全な場合もありません。

●県管理の道路等については、夜間・土・日・祭日は対応出来ない場合もあります。

●事故情報は、警察(110番)へ連絡してください。

●道路交通法により運転中の通報は禁止されています。安全な場所に停車しておかけください。

●ダイヤル式電話ではご利用できません。

通報の仕方

- 1 安全な場所へ停車して 道路の名前を選択
- 2 異常・事故などの通報

道路の異常を発見 緊急通報 道路の選択



青森県 県土整備部 道路課

〒030-8570 青森市長島1丁目1番1号

TEL: (代表) 017-722-1111 FAX: 017-734-8189

●青森県ホームページ: <https://www.pref.aomori.lg.jp>

●道路課ホームページ: <https://www.pref.aomori.lg.jp/soshiki/kendo/doro/>

●道路課 e-mail: doro@pref.aomori.lg.jp